

# ほんはともだち '12

子どもの心を育てる  
良書目録



ブックル

広島市こども図書館

※ ブックルは、広島市こども図書館にずっと住んでいる、本の妖精です。

# ほんはともだち'12

(2010年4月～2012年3月)

付. 子どもたちへ原爆を語りつぐ本 -総集版・2005- 補遺版4

## 目 次

はじめに	
凡 例	
フィクション	1
幼児から	1
小学校低学年から	12
小学校中学年から	23
小学校高学年から	34
中学生から	45
ノンフィクション	56
付. 子どもたちへ原爆を語りつぐ本	
- 総集版・2005 - 補遺版4	67
さくいん	80
原爆関係児童図書リスト	85
図書館案内	114
編集委員	116

## は じ め に

広島市では、昨年3月に「広島市子どもの読書活動推進計画」（第二次計画）が策定され、子どもたちの読書環境を整備するため、家庭・地域・学校が連携し様々な取組みを進めていくこととしています。

また、近年は、図書館だけでなく多くの施設でも読み聞かせをはじめとする子どもと本を結びつけるボランティアの活動も積極的に行われるようになり、子どもたちが本に触れ読書の楽しみに出合う機会が多くなってきたように思います。

当館では、長年にわたり子どもと本を結びつけるための事業の一つとして、毎年数多く出版されている児童書の中から、本を選定し、リストにして発行してきました。今回で24回目を迎えた「ほんはともだち'12」には、過去2年間の新刊から217点を掲載しています。また、巻末には従前どおり原爆関係児童図書リストも併せて掲載しています。これまでの目録に引き続きご活用ください。

子どもが本に親しむためには、周囲の働きかけが大きな力となります。このリストが、子どもに本を手渡す大人の方々の一助となり、子どもたちの心豊かな成長につながれば幸いです。

最後になりましたが、今回の発行にあたりご協力いただいた編集委員の皆様には厚くお礼申し上げます。

平成25年（2013年）3月

広島市こども図書館

館長 野 口 雅 子

## 凡 例

1. この目録に収録した図書は、原則として平成 22 (2010) 年 4 月から平成 24 (2012) 年 3 月末までに発行されたものです。
2. 幼児から中学生までを対象に 217 冊選んでいます。
3. 図書は、その内容によって、フィクション・ノンフィクションに分けてあります。  
めやすとして対象別 (5 段階) に分けていますが、実際にはそれぞれの子どもに応じて選んでください。
4. 付として、『子どもたちへ原爆を語りつぐ本－総集版・2005－』の補遺版をつけています。図書は、その内容から次の 3 テーマに分類しました。

- (1) 絵本
- (2) フィクション
- (3) ノンフィクション

※従来は 5 テーマですが、今回、詩歌・紙芝居は該当がありませんでした。

また、記述が広島に関するものは〈広〉、長崎に関するものは〈長〉としています。

当館所蔵の原爆関係児童図書リストも掲載していますので、あわせてご利用ください。

5. 配列は、日本十進分類法（NDC）新訂9版による分類の番号順とし、同一分類内は、著者名の五十音順となっています。なお、絵本は、Eの記号を付し、書名の五十音順に並べています。
6. 図書に関する記載事項は、請求記号、書名、副書名、シリーズ名、著編者・訳者・画家名、出版社、ページ数（P）、価格（¥）の順になっています。ただし、『子どもたちへ原爆を語りつぐ本－総集版・2005－』の補遺版では、価格のかわりに出版年を記載しています。
7. 図書がわかりやすいように、現物の写真を添えています。
8. 巻末に書名索引を付しています。配列は五十音順とし、清音・濁音・半濁音の区別はしていません。
9. 価格は（¥本体価格＋税）という形で表示し、本体価格の金額のみを記載しています。また、物価事情により変動することがありますので、ご了承ください。



フィクション

幼 児 か ら

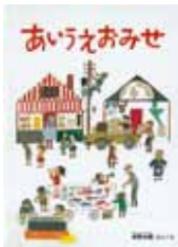
(30 点)

E

あいうえおみせ  
(安野光雅の絵本)

安 野 光 雅 さく・え

福音館書店 28P ￥800+税



飴屋、石焼き芋屋、ろくろ屋、花屋など、見かけることの少なくなったお店が、上段にあいうえお順、下段に「いろは歌」順に並んでいる。人々の暮らしが見えてくるような絵が、それぞれのお店の特徴を物語っている。遊び心たっぷり、親子で楽しんでほしい。

## 幼児から

E

あかいぼうしのゆうびん屋さん  
(日本傑作絵本シリーズ)



ルース・エインズワース さく  
こうもと さちこ やく・え  
福音館書店 40P ¥1,300+税

庭の動物たちの間で、郵便屋さんを決めることになった。こねことリスとこいぬが立候補したが、こまどりは言い出せずにいた。はじめにこねこが配達してみたが……。内気なこまどりと動物たちの様子を、愛らしい絵で描く。改題改訂の新装版。

E

あかちゃんがやってくる  
(こどもプレス)



ジョン・バーニンガム 作  
谷川 俊太郎 訳  
ヘレン・オクセンバリー 絵  
イースト・プレス 46P ¥1,600+税

秋になったら、ママに赤ちゃんが生まれる。赤ちゃんは何になるのかな。絵描きさん？それとも庭師？お腹の中で大きくなる赤ちゃんと、お兄ちゃんらしく成長する男の子の心の変化を季節の移ろいとともに描く。現実と空想の世界を、表情豊かな絵で表現している。

E

いっしょならもっとうい



ルイス・スロボドキン 作  
木坂 涼 訳  
偕成社 26P ¥1,200+税

ひとりでも遊べるけれど、ふたりならもっと楽しい。読んでくれる子がいると手紙を書くのが楽しいし、だれかが押してあげればブランコはもっと高くこげる。だれかと一緒に過ごす楽しさを、簡潔な文章とあわい色調の絵で、のびやかに描く。

E  
おうさまジャックとドラゴン



ピーター・ベントリー ぶん  
灰鳥 かり やく  
ヘレン・オクセンバリー え  
岩崎書店 32P ¥1,300+税  
ジャック、ザック、チュッパの3人は、段ボールやシーツを持ち出して家の近くにお城を建てた。さあ、冒険のはじまり！ドラゴンや怪獣もやっつけた。ところが、夜一人になったジャックは……。子どもらしい空想の世界を、画面いっぱいにいっききと描く。

E  
おおきいちいさい  
(0.1.2.えほん)



元永定正 さく  
福音館書店 20P ¥700+税

さまざまな大きさや文字にデザインされた「おおきい」、「ちいさい」の二つの言葉が、鮮やかな色彩で描かれたユニークな抽象画とともに繰り返される。ページごとにいろいろな世界が繰り返げられ、音の響きや色・形の美しさにふれることができる絵本。

E  
おとうさんおかえり



マーガレット・ワイズ・ブラウン 文  
さくま ゆみこ 訳  
スティーヴン・サヴェッジ 絵  
プロンズ新社 24P ¥1,200+税  
夜になると、お父さんが子どものもとに帰ってくる。さかなも、うさぎも、クモも、人間も——。穏やかな一日が終わり家族のもとに帰る父親の喜びを、シンプルで落ち着いた色調の絵で描いている。語りかけるような言葉が心地よい。

## 幼児から

E

おとまり、おことわり？



ボニー・ベッカー ぶん

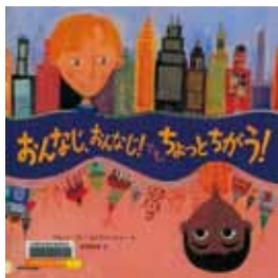
横山和江 やく

ケイディ・マクドナルド・デントン え  
岩崎書店 48P ¥1,300+税

クマくんは、寝る前に整理整頓をし、完璧に静かにすることが一番大事だった。ある夜、ネズミくんが泊まりにきて二人は仲良く過ごし、やがて寝る時間になったけれど……。神経質なクマとマイペースなネズミのやりとりを、やわらかな色調の絵で楽しく描く。

E

おんなじ、おんなじ！でも、ちょっとちがう！



ジェニー・スー・コステキ=ショー 作  
宮坂宏美 訳

光村教育図書 33P ¥1,500+税

アメリカの男の子エリオットとインドの男の子カイラシュは、自分たちの暮らしを手紙で教えあい、同じようだが何かがちよっとずつ違うことに気づいていく。それぞれの暮らしぶりが色彩豊かな絵で隅々まで丁寧に描かれており、文化の違いを知ることができる。

E

くさはらどん

(幼児絵本ふしぎなたねシリーズ)



松岡達英 さく

福音館書店 24P ¥800+税

くさはらで、林で、子どもが「どん」と一歩踏み出すと、足もとの草花が揺れ、止まっていた虫たちが動きだす。街から川原まで、場所によって様変わりする生き物たちの姿も興味深い。草花や虫がその名前とともに丁寧に描かれ、図鑑を見るような楽しさがある。

E  
コウモリのルーファスくん



トミ・ウンゲラー さく  
いまえ よしとも やく  
BL出版 32P ￥1,300+税

コウモリのルーファスは、「夜のいろ」の世界で暮らしていた。ある日、昼間の色の世界を見たルーファスは、誰かが置き忘れた絵の具で自分を塗りかえてみたが……。黒の世界と色の世界を対比させた絵で、色鮮やかな世界に憧れたコウモリの姿を描く。改題新装版。

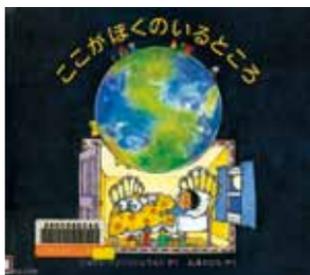
E  
こけこっこー  
(たんぼぼえほんシリーズ)



林 木 林 作  
西 村 敏 雄 絵  
鈴木出版 24P ￥1,100+税

雀や鳩やふくろうたちは、その鳴き声でみんなを起こすにわとりが羨ましくてならない。そこで、「こけちゅんちゅん」「こけぼっぼー」と順番に鳴いてみたが……。にわたりの真似をする鳥たちの様子が、ほのほのとした絵でほほえましく描かれている。

E  
ここがぼくのいるところ



ジョアン・フィッツジェラルド さく  
石 津 ちひろ やく  
ほるぷ出版 30P ￥1,200+税

「ちきゅうのうえに、くがある。くにのなかに、としがある。としのなかに、まちがある。」地球の中の、ぼくが今いる場所はどこ？難しいテーマをわかりやすい絵と文で説明。自分の居る場所を知ること、視野を広げるきっかけとなる一冊。

## 幼児から

E  
さあ、とんでごらん！



サイモン・ジェームズ さく  
福本 友美子 やく  
岩崎書店 32P ￥1,300+税

冬が近づき、鳥たちは南の国へ向かう。でも、あまえんぼうのジョージは飛ぶ練習をしようとしめない。そんなある日、突然強い風が吹き……。街の中でいろいろな出来事に出あい飛べるようになったジョージの喜びと、それを見守る母鳥の心情を、抑えた色調の絵で描く。

E  
たまごのなかにいるのはだあれ？



ミア ポサダ さく  
ふじた ちえ やく  
福音館書店 32P ￥1,200+税

ペンギンやワニなど、6種類の動物のたまごが登場する絵本。たまごの次ページには、赤ちゃんがうまれる様子や生態が、特徴をとらえた絵とともに紹介されている。巻末には、本文に登場するたまごの大きさが原寸大で描かれ、その大きさを比べることができる。

E  
ちいさなたいこ  
(こどものともコレクション)



松岡 享子 さく  
秋野 不矩 え  
福音館書店 32P ￥800+税

心優しい老夫婦が畑に植えたかぼちゃの一つが、ひときわ大きくみごとに育った。ある秋の夜のこと、そのかぼちゃの中から祭り囃子が聞こえてきた。二人が中を覗いてみると——。暖かくやわらかな色調の絵で、幻想的なお話の世界を描く。新版。

E  
トラのじゅうたんになりたかったトラ  
(大型絵本)



ジェラルド・ローズ 文・絵  
ふしみ みさを 訳  
岩波書店 32P ￥1,400+税

インドのジャングルに、年老いてやせこけたトラが住んでいた。王さまの家族の仲間に入りたと思っていたトラは、召使いが絨毯を干すのを見て——。トラの大胆な行動が、予期せぬ展開をまきおこす。ユーモアたっぷりの絵がお話の世界をより楽しくしている。

E  
とりになったきょうりゅうのはなし  
(かがくのとも絵本)



大 島 英太郎 さく  
福音館書店 32P ￥900+税

恐竜の中には、犬や猫くらいの大きさで、羽毛が生えていたものがいた。手足の羽毛が長く伸びて飛ぶようになり、やがて羽毛が翼の形になり、姿を変えて今でも生きているのが鳥だ。恐竜と鳥の関係を、わかりやすい絵と文で伝える。身近な鳥への関心が高まる本。

E  
どんどこどん  
(福音館の幼児絵本)



和歌山 静 子 作  
福音館書店 24P ￥800+税

にんじん、さつまいも、だいこんなど、身近な野菜が土の中で「どんどこどん」大きくなっていく様子が縦開きのページいっぱい、のびのびとした絵で力強く描かれている。次はなんだろう？とページをめくる楽しさがある。テンポ良い言葉の繰り返しが心地よい。

幼児から

E  
中をそうぞうしてみよ  
(かがくのとも絵本)



佐藤 雅彦 作  
ユーフラテス 作  
福音館書店 30P ¥900+税

木の椅子に使われているくぎや針山に刺さった針、貯金箱の中のコインは、中でどうなっているのかな？身近にある物の内部をX線写真で紹介。普段は隠れていて外から見えない中の様子を見ることで、いろいろな物の中身を想像するのが楽しくなる絵本。

E  
はるがきた  
(主婦の友はじめてブック)



ジーン・ジオン 文  
こみや ゆう 訳  
マーガレット・ブロイ・グレアム 絵  
主婦の友社 32P ¥1,300+税

春はもうそこまで来ているのに、町の中は灰色で、人々の気持ちも沈んでいた。そんな時、男の子のアイデアで、町の人たちはペンキで町を塗りかえた。ところが雨が降りはじめ…。春を待ちわびる人々の表情や町の様子が、画面いっぱいに生き生きと描かれている。

E  
びっくりまつぼっくり  
(幼児絵本ふしぎなたねシリーズ)



多田 多恵子 ぶん  
堀川 理万子 え  
福音館書店 24P ¥800+税

まつぼっくりを見てごらん。雨に濡れるとしょんぼり小さくなって、乾くと開いてまた大きくなる。身近にあっても意外と知られていないまつぼっくりの秘密を、簡潔な文章とシンプルな絵で描く。自然に興味を持つきっかけになる科学絵本。

E  
びゅ〜んびょ〜ん



ふじわら こういち しゃしん・ぶん

新日本出版社 24P ¥1,300+税

「びゅ〜ん びょ〜ん」。カエルやイルカ、カメレオンやキリンなど、動物がとび立つ瞬間や、首や舌がのびる瞬間をとらえた写真絵本。静と動の動きが対照的で、それぞれの動物の体の特徴がよくわかる。生き生きとした表情が印象的な一冊。

E  
ふねがきた！  
(幼児絵本ふしぎなたねシリーズ)



笠野 裕一 さく

福音館書店 24P ¥800+税

「ボー ボー」。静かな港に大きな船が来た。クレーンが動きだすと、人や車や荷物が降りてくる。港に船が入って賑やかになり、出港して再び静けさを取り戻すまでの様子を、抑えた色彩の絵で丁寧に描く。臨場感あふれる港の様子が興味深い。

E  
ベンジーのもうふ



マイラ・ベリー・ブラウン 文  
まさき りりこ 訳  
ドロシー・マリノ 絵

あすなる書房 57P ¥1,300+税

ベンジーは、赤ちゃんのときの毛布を離さず持ち歩いてきた。そのうち毛布のことを忘れるようになったある日、こねこの鳴き声を聞き——。男の子が少しずつ成長していく姿と、周りの人々の愛情を描く。オレンジと黒の色使いの絵もあたたかい。

## 幼児から

E  
まいごのまめのつる  
(こどものとも絵本)



こだま ともこ さく  
おりも きょうこ え  
福音館書店 32P ¥800+税

野菜づくりの名人のマグばあさんと、お料理上手のメグばあさんは、近所に住むのに仲が悪かった。ところがある日、マグばあさんの豆のつるが迷子になり——。二人の意地の張り合いと、お互いを認めて仲良くなる様子を、ユーモラスな絵で楽しく描く。新版。

E  
もりのてぶくろ  
(幼児絵本ふしぎなたねシリーズ)



八百板 洋子 ぶん  
ナターリヤ・チャルーシナ え  
福音館書店 24P ¥800+税

秋を迎えた森に、てのひらの形の葉っぱが落ちていた。ねずみ、うさぎ、きつねが葉っぱを見つけ、手を当ててみるが大きすぎる。その次にやってきたのは——。静かな森にやってくる動物たちの姿を、柔らかいタッチの色彩豊かな絵でおだやかに描く。

E はせ  
ようちえんいやや  
(絵本・こどものひろば)



長谷川 義史 作・絵  
童心社 32P ¥1,300+税

目から大粒の涙を流している、たけしくんやまなちゃんたち。どの子もみんな「ようちえんいくの いややー」と大声で泣いている。初めて母親から離れ集団生活に入る子どもの心理をユーモラスな絵で表現。終わりの頁は、一歩成長した子どもの笑顔で溢れる。

E  
よるのえほん



バーバラ・エンバリー 作  
エド・エンバリー 作  
木坂 涼 訳  
あすなろ書房 25P ¥1,200+税

「なつよる おおきななはなびがうちあがる」「よるのかぜがふいてくる ひんやりしずまるもりのなか ねむりにつくのはどうぶつたち」。四季折々のさまざまな場所の夜の様子を、カラフルな色と細やかな線で描いた絵本。詩的なことばの響きがやわらかい。

E  
わたし、くわがた  
(かがくのとも絵本)



得田之久 ぶん  
たかはし きよし え  
福音館書店 28P ¥900+税

くわがたのメスにはオスのように大きなつのはないし体は小さいけれど、力は強い。メスのくわがたの生態を中心に、夜の森の樹液に群がる虫の様子や、それらを育む雑木林の様子がわかる科学絵本。自然の中で繰り返し広げられる営みを表現した貼り絵も魅力的。

低学年（1・2年）から

## 小学校低学年から

(31 点)

E  
あなた  
(ランドセルボックス)



谷川 俊太郎 文  
長 新太 絵  
福音館書店 31P ¥1,200+税

「ずっとまえ わたしはおかあさんのおなかにいた でもいま わたしはわたし」。わたしとわたしにとって大切なあなた、わたしを取り巻くたくさんのあなたを、詩的な文と鮮やかな色遣いのユニークな絵で描く。自分を支える多くの存在に気付く絵本。

E  
エイモスさんがかぜをひくと



フィリップ・C・ステッド 文  
青山 南 訳  
エリン・E・ステッド 絵  
光村教育図書 32P ¥1,400+税

エイモスさんは、動物園で働くおじいさん。仕事の合間にゾウとチェスをしたり、カメとかけっこをして遊んだり。エイモスさんが風邪をひいて仕事を休むと、ゾウたちは心配になり……。エイモスさんと動物たちの温かい交流を淡い色彩の細やかな絵で描く。

低学年（1・2年）から

E  
王さまライオンのケーキ



マシュー・マケリゴット 作・絵  
野口絵美 訳  
徳間書店 32P ￥1,600+税

王さまライオンの食事会に招かれた動物たち。自分のぶんのケーキを取って隣に回すようにと言われ、ゾウが半分には切ってカバへ、カバも半分には切って次へ、最後のアリに残るのは……。お行儀の悪い動物たちと誠実なアリの愉快なお話で、算数を楽しむ絵本。

E  
おおきなけやき  
(ひまわりえほんシリーズ)



林 木 林 作  
広野多珂子 絵  
鈴木出版 28P ￥1,200+税

寒い冬の日、森で一番背の高い年老いたけやきが倒れた。その木に草花や動物たちが集まり、和やかに語り合い穏やかな時間を過ごす。けやきは土になり、そこから新しい木の芽が生まれる。柔らかいタッチの絵と優しい文で、命のつながりをわかりやすく伝える。

E  
おかのうえのギリス



マンロー・リーフ 文  
こみや ゆ う 訳  
ロバート・ローソン 絵  
岩波書店 68P ￥1,500+税

ちびっこギリスは将来住む土地を決めるため、谷間と山の村で一年ずつ暮らす。大声で牛を集める訓練をしその村に合った暮らし方を学ぼうと、超特大のバグパイプが吹けるようになった。昔のスコットランドの雰囲気が伝わる黒白の細密画が美しい。約70年前の作品。

低学年（1・2年）から

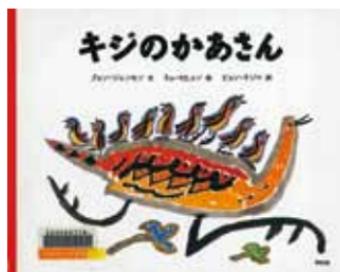
E  
おじいちゃんの手



マーガレット・H・メイソン 文  
もりうち すみこ 訳  
フロイド・クーパー 絵  
光村教育図書 30P ¥1,400+税

ジョーゼフは黒人の男の子。「どうだわしの手は」と祖父が手をみせながら、少し前までは人種差別で苦しかったと話す。しかし、皆で力を合わせ抵抗運動をし、色々認められる時代になったと孫を励ます。渋い色味の絵が、過去の胸の内を表し、心に響いてくる。

E  
キジのかあさん



クオン・ジョンセン 文  
ピョン・キジャ 訳  
キム・セヒョン 絵  
平凡社 44P ¥1,600+税

山火事が起こり、キジのかあさんと生まれたばかりの9羽のひなにも火の手が迫ってきた。恐怖のあまり一度は逃げてしまった母鳥は、再びひなの元に戻り……。母鳥の命がけの愛と母鳥を慕う子どもたちの健気な姿を、力強く特異な絵で描く。作者の遺作。

E  
教会ねずみとのんきなねこ



グレアム・オークリー 作・絵  
三原 泉 訳  
徳間書店 36P ¥1,500+税

ねずみのアーサーとねこのサムソンは教会住まい。仲間が欲しくなったアーサーは、町じゅうからねずみを集めたが、サムソンの失敗でねずみたちは追い出される羽目になる。ところがその夜……。緻密に描かれた重厚な絵で、ねことねずみたちの活躍を描く。

低学年（1・2年）から

E

このよでいちばんはやいのは  
(かがくのとも絵本)



ロバート・フローマン 原作  
天野 祐吉 翻案  
あべ 弘士 絵  
福音館書店 28P ¥900+税

動物の中ではやいのは？チータではなくハリオアマツバメ。もっとはやいのは？人間の作った新幹線やジェット旅客機。はやいものが次々と登場し、最後は人間の想像力が一番はやい、と締めくくる。難しい内容を分かりやすく説明した知識・科学絵本。

E

しげちゃん



室井 滋 作  
長谷川 義史 絵  
金の星社 32P ¥1,300+税

入学式の日、「しげる」という男の子みたいな名前のせいで、嫌な思いをしたしげちゃん。からかわれ続ける名前を変えられないかと知恵をしまり……。名前に込められた親の願いや愛情が、人情味のある温かな絵とともに伝わってくる。作者自身の体験を基にした話。

E

シルム



キム・ジャンソン 作  
ホン・カズミ 訳  
イ・スンヒョン 絵  
岩崎書店 35P ¥1,500+税

韓国古来の伝統的競技シルムを見ようと村の人々が広場に押しよせる。勝負がどんどん進み、最後はでっかい赤のチャンサとちっちゃい青のチャンサの息づまる一騎討ち。民族色豊かな力士と群集を、独特の愉快的表情で描き、躍動感にあふれた迫力ある絵本。

低学年（1・2年）から

E  
ステイーヴィーのこいぬ



マイラ・ベリー・ブラウン 文  
まさき るりこ 訳  
ドロシー・マリノ 絵  
あすなる書房 54P ¥1,300+税  
植込みで見つけた子犬を飼いたいステイーヴィー。父に詳しい飼い方を教わりながら飼い主を探し出し、とうとう子犬をもらえることになる。名前をキューとつけ大喜び。子犬を飼えるまでの男の子の執着や愛情が、柔らかい色調の絵でほのぼのと描かれ、心温まる。

E  
てるちゃんのかお



藤井輝明 文  
亀澤裕也 絵  
金の星社 32P ¥1,300+税

2歳の頃発症した海綿状血管腫のため、顔にこぶができた少年てるちゃん。小学1年の時いじめにあって転校もしたが、両親の惜しめない努力と愛情、周囲の理解に支えられ、彼の顔は個性と受け入れられる。医学博士、看護師でもある作者の体験をもとにした絵本。

E  
どうしてダブってみえちゃうの？



ジョージ・エラ・リヨン 文  
品川裕香 訳  
リン・アヴィル 絵  
岩崎書店 40P ¥1,500+税  
視力は悪くないのに、物がきちんと見えない女の子、ジニー。本人も周りもジニーの見え方が他の子と違うことに気付かなくて……。ダブル・ビジョン（複視）という発見しづらい障害とその治療に取り組む様子が、分かりやすい文と絵で表現され、理解を助ける。

低学年（1・2年）から

E  
ながいながいよる



マリオン・デーン・パウアー 文  
千葉茂樹 訳  
テッド・ルウィン 絵  
岩波書店 32P ¥1,700+税

深く積った雪。静かな森の長い夜。夜明けを待ちかねるカラスやヘラジカ、キツネたちは、自分こそが太陽を取り戻せると息巻く。風が、小鳥なら呼び戻せると言う。小鳥は歌い続け、やがて太陽が……。青の濃淡の森と雪が幻想的で美しく、迫力ある動物が印象的。

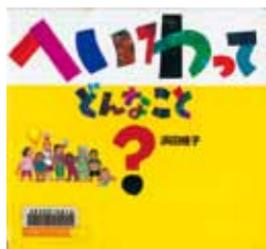
E  
ねむれないふくろうオルガ



ルイス・スロボドキン 作  
三原泉 訳  
偕成社 32P ¥1,200+税

眠れなくて困っているふくろうのオルガ。ふくろうの物知り長老さま、しまりす、あおかけすなどに聞いた方法を試しても眠れない。そんな時つぐみが良い方法を教えてくれる。オルガと森の仲間たちの、優しく心温まる交流を、淡い色彩の絵で柔らかく描く。

E  
へいわってどんなこと？  
(日・中・韓平和絵本)



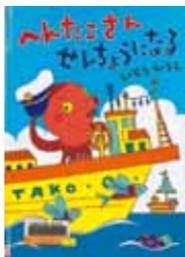
浜田桂子 作  
童心社 36P ¥1,500+税

「きつとね、へいわってこんなこと」「せんそうをしない」「おもいっきりあそべる」「はくがうまれてよかったっていうこと」。温かみのある絵と共に、簡潔な文章で、命が大切にされる世の中こそが平和な状態だと、子どもたちに伝える。シリーズ第1作。

低学年（1・2年）から

E

へんたごさんせんちょうになる  
(へんたごせんちょううみをいく 1)



いとう ひろし 作

偕成社 40P ￥1,200+税

タコのへんたごさんの夢は、船長になること。ずっと抱えていた夢をあきらめきれず、家族の応援を受け、つりふねせんちょうに弟子入りする。ところが、船長になるための試験で思いがけない出来ごとが……。明るくユーモラスな絵とお話が、勇気を与えてくれる。

E

むこうがわのあのこ



ジャクリーン・ウッドソン 文

さくま ゆみこ 訳

E. B. ルイス 絵

光村教育図書 32P ￥1,500+税

黒人の私たちは柵のこちら、向こう側には白いあのこが住んでいる。行き来はできない。でも、あのこが近づいてきて話しかけ、やがて一緒に柵に腰掛けるようになる。生き生きした少女の姿を爽やかな明るい絵で描き、人種差別撤廃の希望を感じさせる。

E

めっけもののサイ



シェル・シルヴァスタイン 作

長 田 弘 訳

B L 出版 57P ￥1,300+税

コートハンガーになったり、背中かきになったり、縄とびの縄だって喜んで回してくれる。こんなサイがいたらいいと思わない？ 奇抜な発想が次々と繰り広げられ、思いがけないサイの姿が楽しい。無彩色の線画が想像力を膨らませるユニークな絵本。改題新訳。

低学年（1・2年）から

E  
ライオンとねずみ



ジェリー・ピンクニー 作  
さくま ゆみこ 訳  
光村教育図書 33P ¥1,500+税

ねずみに眠りのじゃまをされたライオンだが、ねずみを許す。ライオンが密猟者に捕まった時ねずみは……。イソップ物語「ライオンとねずみ」を、見開きいっぱいの迫力ある絵と動物のたてる音のみで描く。表情豊かで動きのある絵を眺めるのも楽しい。

E  
ろばのとしょかん



ジャネット・ウィンター 文と絵  
福本友美子 訳  
集英社 28P ¥1,500+税

ジャングルの奥に住む本好きのルイスは、2頭のろばに多くの自分の本を乗せ、はるか山の向こうの村へと運んでいく。家に本が一冊もないのが普通という、コロンビア北部の村での実話にもとづくお話。独特な明るい色調の絵が、南米の雰囲気伝える。

913 ま  
おとうさんの手  
(どうわがいろいろ 80)



まはら 三桃 作  
長谷川 義史 絵  
講談社 74P ¥1,100+税

「おかえり、かおり」お父さんは、静かに言った。車の事故で失明してしまった鍼灸師のお父さんは、匂いや音からなんでもわかる。父と娘の温かい心の交流が微笑ましく、穏やかに描かれている。シンプルで静かな絵が各ページに添えられ、心に響く物語。

低学年（1・2年）から

933 い

ネズミさんとモグラくんの楽しいおうち  
(ネズミさんとモグラくん)



ウォン・ハーバート・イー 作  
小野原 千鶴 訳  
小峰書店 48P ￥1,300+税

掃除の方法、暮らし方、好きな食べ物……。違うところがいっぱい、のネズミさんとモグラくんが、お互いを知り、認め合いながら交流する4つのお話。想像を助ける挿絵が全ページに添えられており、絵本から児童書への橋渡しにふさわしい。シリーズ第1作目。

933 し

こんにちほといっぺごらん  
(子どもの文学・緑の原っぱシリーズ 6)

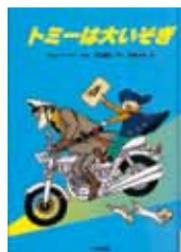


マージョリー・W・シャーマット 作  
さかの やよい 訳  
リリアン・ホーバン 絵  
童話館出版 47P ￥1,200+税

子ねずみのバネッサは、内気で恥ずかしがり屋で友だちがいない。そんな娘に母はアドバイスをし——。優しく見守る母に励まされ、バネッサは少しずつ成長していく。友だち作りのヒントにもなる一冊。グレーの濃淡に赤みを添えた可愛い絵も魅力的。改題新訳版。

933 は

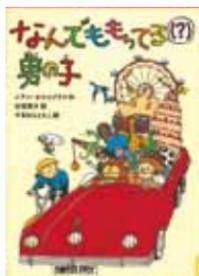
トミーは大いそぎ  
(ゆかいなゆかいなおはなし)



ヘレン・パーマー ぶん  
光 吉 夏 弥 やく  
赤 坂 三 好 え  
大日本図書 62P ￥1,200+税

大事な手紙を急いで市長に届けることになったトミーは、バスやトラックに乗せてもらうが市長はもう出た後。焦ったトミーは、後を追ってタクシーや消防車を乗り継ぐが……。追跡のスリルやもどかしさをリズムカルな文で描く。ユーモラスな絵も楽しい。新装版。

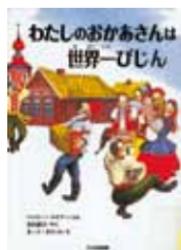
933 ほ  
なんでももってる(?)男子



イアン・ホワイブラウ 作  
石垣 賀子 訳  
すぎはら ともこ 絵  
徳間書店 110P ¥1,300+税

自分だけの遊園地など、欲しい物は何でも買ってもらえる大金持ちの一人息子フライ。誕生日に何が欲しいか分からなくなった彼は、ごくごく普通の男子と出会い、一緒に遊ぶうちに大事なことに気付く。想像する楽しさや友情の大切さを、愉快的挿絵と共に描く。

933 ら  
わたしのおかさんは世界一びじん  
(ゆかいなゆかいなおはなし)



ベッキー・ライアー ぶん  
光 吉 郁 子 やく  
ルース・ガネット え  
大日本図書 42P ¥1,200+税

女の子ワーリヤは、刈り入れに忙しい両親とはぐれ迷子になってしまう。見知らぬ村人たちに囲まれ、泣きながらやっと言えた一言は……。心で見ることの大事さを伝えるウクライナの心温まることわざを、民族色豊かな挿絵とともに味わえる物語。新装版。

943 ね  
赤ちゃんおばけベロンカ



クリスティーネ・ネストリンガー 作  
若 松 宣 子 訳  
フランツィスカ・ビアマン 絵  
偕成社 110P ¥1,200+税

気の強い妹ミツィを怖がらせるため、おばけ人形を作ることにした、怖がりやの男子ヨッシー。ところがその人形がしゃべりだし……。奇想天外な話に、ユーモラスなカラーの挿絵が随所に添えられ、お話の愉快さを引き立てている。人形の作り方の紹介もある。

低学年（1・2年）から

949 ほ

だいすきだよ、オルヤンおじいちゃん



カミラ・ボルイストレム 作  
石井登志子 訳  
千葉史子 絵

徳間書店 62P ￥1,200+税

8歳のオルヤンは、大好きなおばあちゃんが老人ホームに入って落ち込む。でもホームへ通ううち、自分と同じ名前のおじいちゃんと知り合う。ある日、おじいちゃんをこっそり車椅子に乗せ散歩に連れ出すが……。少年と孤独な老人の交流と別れを温かく描く。

993 も

もりのたいしょうははりねずみ



モーラ・フェレンツ さく  
うちかわ かずみ やく  
レイク・カーロイ え

偕成社 47P ￥900+税

森の中で熊はいつも大将だと恐れられている。だが、今日ははりねずみが大将だという。怒った熊ははりねずみを何度も試そうとする。弱いはりねずみの知恵に、熊がまんまとやられる痛快なお話。ユーモラスで明るい色使いの挿絵が話にマッチしている。

## 小学校中学年から

(32 点)

E  
うずらのうーちゃんの話  
(ランドセルブックス)



かつや かおり 作・絵

福音館書店 32P ¥1,200+税

ほくは、幼稚園からもらってきたうずらに「うーちゃん」と名前をつけてかわいがる。ある日うーちゃんはネコに襲われ、片足をなくしてしまうが……。うずらを大事に育てる少年の喜びや驚き、心配など、心の動きが素直に表現された絵本。赤一色の線画が印象的。

E  
カンガルーには、なぜふくろがあるのか  
(大型絵本)



ジェームズ・ヴァンス・マーシャル 再話  
百々 佐利子 訳  
フランシス・ファイアブレイス 絵  
岩波書店 61P ¥1,800+税

お母さんカンガルーは、子育てで大変な中、よぼよぼのウォンバットを水飲み場に連れていったり狩人から守ったりする。実はウォンバットは神様で……。この表題作などアボリジナルに伝わる話が10編。伝統的な記号を使った素朴な絵がマッチして楽しい。

中学年（3・4年）から

E  
京劇がきえた日  
(日・中・韓平和絵本)



姚 紅 作  
中 由美子 訳  
童心社 34P ¥1,800+税

京劇の有名な役者ヨウさんが、祖母の家に泊まることになった。9歳の私は初めて京劇のすばらしさを知る。その翌日ヨウさんは去り、日本軍の空襲が……。中国側から見た南京爆撃と京劇公演の中止を軸に、戦争の実態を語る。絵が時代の雰囲気をよく伝えている。

E  
空の絵本  
(講談社の創作絵本)



長 田 弘 作  
荒 井 良 二 絵  
講談社 32P ¥1,400+税

「あっ 雨」「だんだん」と雨は強くなり、空の青色がだんだん灰色になり——やがて雨は上がる。雨によって様々な表情を見せる大自然。そして刻々と移り変わる空の様子。詩のような言葉と美しくダイナミックな絵で表現し、自然の雄大さを感じさせる一冊。

E  
つぼつくりのデイヴ

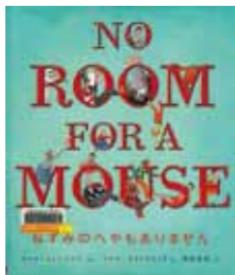


レイバン・キャリック・ヒル 文  
さくま ゆみこ 訳  
ブライアン・コリアー 絵  
光村教育図書 42P ¥1,600+税

200年ほど前のアメリカ。奴隷のデイヴは、まるで手品のように粘土をこね、大きなつぼを作っていた。奴隷にとって、つぼを作る技術や字を学ぶことが大変だった時代、彼は作品に自分の言葉を書き残した。迫力ある絵が、生きるための力強さと誇りを伝えている。

中学年（3・4年）から

E  
ねずみのへやもありません



カイル・ミューバーン ぶん  
角田光代 やく  
フレヤ・ブラックウッド え  
岩崎書店 32P ￥1,400+税

クリストファーはいつも忙しいおかあさんとねずみのスニーキーと、大きなお屋敷に住んでいた。ある日彼は一人のおばあさんに出会い、自宅に招き入れる。その後もいろいろな人が次々と引っ越してきて……。ユーモアあふれるお話を、柔らかい色彩で楽しく描く。

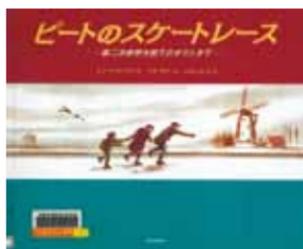
E  
ハスの花の精リアン



チェン ジャンホン 作・絵  
平岡敦 訳  
徳間書店 34P ￥1,800+税

ローおじさんは、親切にしたおばあさんに種をもらった。それを植えるとたちまちハスの花が咲き、中から花の精リアンが現れ、魔法でおじさんを豊かにする。だが国王の娘が、リアンの魔法をうらやんで……。水墨画の技法を用いた絵が美しく、結末は温かい。

E  
ピートのスケートレース  
(世界傑作絵本シリーズ)



ルーズ・ボーデン 作  
ふなとよし子 訳  
ニキ・ダリー 絵  
福音館書店 40P ￥1,500+税

第二次大戦中のオランダ。ピートはヨハンナ姉弟の命を守るため、ベルギーに二人を連れて行くよう頼まれる。3人は凍った運河をスケートで進むが、国境でドイツ兵に見つかって……。抑えた色調の絵から、大役を果たそうとする少年の緊張感と勇気が伝わる。

中学年（3・4年）から

E  
非武装地帯に春がくると  
(日・中・韓平和絵本)



イ・オクベ 作  
おおたけ きよみ 訳  
童心社 34P ￥2,000+税

朝鮮半島を南北に分ける非武装地帯。戦争で隔てられ、誰も入ることが出来ないこの場所にも、季節はめぐり、生きものたちが訪れる。軍人が監視し、訓練を続ける一方で、その場所を遠くから見つめる人々がいる。統一と平和への強い願いを、温かな絵で訴える。

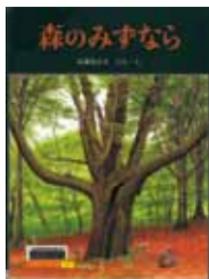
E  
マグナス・マクシマス、なんでもはかります



キャスリーン・T・ペリー 文  
福本 友美子 訳  
S. D. シンドラー 絵  
光村教育図書 32P ￥1,400+税

マグナス・マクシマスは、ものをはかるのが大好きなおじいさん。毎日あらゆるものをはかっていたが、ある日自分のめがねを壊してしまった。波でも数えようかと海へ行き、小さな男の子と出会って別の楽しみを見いだす。細かく工夫を凝らした絵がユーモラス。

E  
森のみずなら



高森 登志夫 ぶん・え  
福音館書店 32P ￥1,300+税

春、みずならは芽吹き花を咲かせ、緑に包まれる。秋、たくさんの実をつけ動物たちが集まる。冬、いちめんの雪に覆われ、みずならの住む森の一年が過ぎていく。木の一生を追いながら、自然の営みを細やかに描く。見開きいっぱいの色彩豊かな絵も素晴らしい。

中学年（3・4年）から

E

わたしのひかり

(評論社の児童図書館・絵本の部屋)



モリー・バング 作

さくま ゆみこ 訳

評論社

34P ￥1,400+税

私たちが使うエネルギーは、地球に光や熱を送り続ける太陽が元になっている。水力・風力・火力など、様々な目に見えないエネルギーの循環を、多くの例を挙げ、わかりやすい絵で丁寧に説明。毎日使う電気がどのように作られるのか考えさせられる科学絵本。

911 さ

きつねうどん



阪田寛夫 詩

童話屋

158P ￥1,250+税

「きつねうどんをしってるかい ただのうどんじゃないんだよ」。「きつねうどん」から「ちいさい はなびら」まで45篇を収録。子どもたちに親しまれているユーモアあふれる詩がいっぱい。豊かな表現力で“ことば”のおもしろさや楽しさを、改めて教えてくれる。

913 た

レンタルロボット

(ジュニア文学館)



滝井幸代 作

三木謙次 絵

学研教育出版 118P ￥1,200+税

健太は“ロボット貸します”の文字に誘われて、弟ロボットをレンタルした。しばらくは楽しい時間を過ごす、素直で周囲に愛される弟にだんだんがまんできなくなり、お店に返してしまう。だが弟が残した手紙を読み……。子どもの複雑な心の動きが伝わってくる。

中学年（3・4年）から

913 と  
盆まねき



富安陽子 作  
高橋和枝 絵  
偕成社 191P ￥1,000+税

なつみは今年も「盆まねき」に招かれ、祖父たちのホラ話を聞く中で、戦死したシュンスケおじさんのことを知る。盆まねき最後の日、なつみ自身も不思議な体験をし……。日本の伝統行事に込められた、先に旅立った人たちへの想いを感じさせる物語。

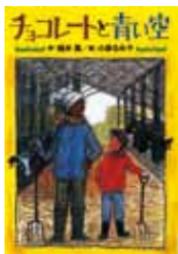
913 ふ  
ちっこばあばの泣いた夜



福明子 作  
ふりやかよこ 絵  
新日本出版社 101P ￥1,400+税

学校でいじめにあっていたシュウは、母さんの勤める病院で「ちっこばあば」の笑顔に出会う。心の傷に耐えかねたシュウは、母さんにも言えない「死にたい」という思いをもらしてしまおうが、その翌日……。現代のいじめと孤独な老人の死を温かい視点で描く。

913 ほ  
チョコレートと青い空  
(ホップステップキッズ！ 18)



堀米 薫 作  
小泉るみ子 絵  
そうえん社 175P ￥950+税

専業農家の周二の家に、ガーナから農業研修生のエリックさんがやってきた。言葉も文化も全く違うエリックさんと生活しながら、チョコレートにまつわる話を聞くうちに、周二は家族や農業、世界経済などに目をむけ始める。周二の心の成長が生き生きと伝わってくる。

中学年（3・4年）から

913 み  
ぼくらのムササビ大作戦



深山 さくら 作  
松成 真理子 絵  
国土社 95P ¥1,300+税

友樹はある日、樹齢数百年の大イチョウのてっぺんから飛んでいくムササビを見た。その木が切られるという。親友の達也とムササビのことを調べるうちに……。ムササビの生活環境を守りたいという子どもたちの気持ちが大人を動かす。行動する勇気を与える一冊。

913 や  
ぼくとおじちゃんとハルの森



山末 やすえ 作  
大野 八生 画  
くもん出版 125P ¥1,200+税

<sup>てるや</sup>輝矢は自分から友達を作れない気の弱い男の子。夏休み、腕のよい大工のモリオじちゃんと自然の中で山小屋生活を始める。犬のハルや蝶好きの勇三と出会って……。これまでと違ったユニークな環境が輝矢を変えていく。その心の動きと成長を描いている。

929 に  
子どもに語るアラビアンナイト



西尾 哲夫 訳・再話  
茨木 啓子 再話  
こぐま社 204P ¥1,600+税

美しい王女を愛する3人の王子。父王は、一番珍しい宝物を持ち帰った者を婿にするといい……。〔空飛ぶじゅうたん〕。このほか有名なアラビアンナイトの物語9編を、子どもにわかりやすい言葉で再話。異国情緒豊かで不思議な世界へといざなってくれる。

中学年（3・4年）から

933 あ

黒ネコジェニーのおはなし 1～3  
（世界傑作童話シリーズ）



エスター・アベリル 作・絵

松岡享子 共訳

張替恵子 共訳

福音館書店 1 119P ￥1,300+税

2 84P ￥1,200+税

3 87P ￥1,200+税

ジェニーは、はにかみやの黒い子ネコ。ネコたちのクラブに入りたいが、入会するには何か才能がないとだめ。諦めかけていたのだが、飼い主のキャプテンからスケート靴をもらって……。少しずつ勇気を出して変わっていくジェニーと、仲間たちの活躍を描く。新版。

933 あ

パパはバードマン



デイヴィッド・アーモンド 作

金原瑞人 訳

ポリー・ダンバー 絵

フレーベル館 166P ￥1,400+税

リジーのパパはとっても風変わり。朝ごはんは、ハエにミミズ。鳥の羽を集めて翼を作り、空を飛ぶ練習。なぜならパパは「バードマン」だから。鳥人間コンテスト優勝をめざすパパとリジーの、愉快で心温まる奮闘の日々を描く。カラーの挿絵が雰囲気伝える。

933 た

11号室のひみつ

（おはなしメリーゴーラウンド）



ヘザー・ダイヤー 作

相良倫子 訳

ピーター・ベイリ 絵

小峰書店 173P ￥1,400+税

ホテルの下働きのトビーは、ある日浜辺で人魚一家と出会う。その時もらった黄金の指輪が難破船の遺品だったことから、浜辺は大騒ぎに……。人間に見つかりそうになる人魚たちを救おうと、周囲に助けられながらがんばるトビーを、スリルいっぱい温かく描く。

933 て  
丘はうたう  
(世界傑作童話シリーズ)



マインダート・ディヤング 作  
脇 明子 訳  
モーリス・センダック 絵  
福音館書店 229P ¥1,500+税

家族で田舎に引っ越してきた幼いレイは、自然の中の生活を体いっばいに味わっていた。ある日、丘の上で一頭の白い馬に出会い、家族に内緒で世話を始めるが……。レイの冒険と家族の愛情を、自然の移り変わりと共にほのぼのと描く。挿絵も素晴らしい。改訂版。

933 ふ  
チキチキバンバン 1～3



イアン・フレミング さく  
こだま ともこ 訳  
ジョン・バーニンガム え  
あすなる書房 各63P 各¥1,200+税

発明家のポットさん一家が手に入れた、おんぼろ自動車。修理をして見違えるようになった。みんなは喜んでドライブに出かけたが、突然車が空中に浮かんで——。自分の意思を持つ魔法の車「チキチキバンバン」とポットさん一家の、心浮き立つ冒険物語。新訳。

933 へ  
ゴールデン・バスケットホテル



ルドウィッヒ・ベーメルマンズ 作  
江 國 香 織 訳  
B L 出版 142P ¥1,500+税

セレステとメリサンドの姉妹は、お父さんに連れられ、ベルギーの素敵なホテルにやって来た。天真爛漫な女の子たちと、ホテルで暮らす人々との温かい交流と切ない別れが、生き生きと描かれる。随所にちりばめられたイラストが、お話に彩りを添える。

中学年（3・4年）から

933 み  
オリバー、世界を変える！



クラウディア・ミルズ 作  
渋谷 弘子 訳  
菅野 博子 絵  
さ・え・ら書房 121P ¥1,200+税

オリバーは、過保護な両親から「宇宙合宿」への参加を許してもらえない。だが授業で太陽系の惑星からはずされた冥王星の話聞き、合宿の仲間に入れない自分と重ね合わせ、少しずつ行動を起こし始める。自分を変えることで、世界を広げようとする少年の物語。

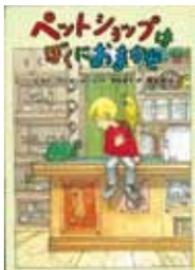
933 も  
忘れないよリトル・ジョッシュ  
(文研じゅべにーる)



マイケル・モーパーゴ 作  
渋谷 弘子 訳  
牧野 鈴子 絵  
文研出版 159P ¥1,300+税

ベッキーは、農場で大好きな動物たちに囲まれて暮らしていた。だがある日、北方の農場で恐ろしい伝染病の口蹄疫が流行し始め……。苦悩の日々を日記形式で綴る。苦しみの先にはきっと希望があると教えてくれる、作者の実体験に基づいた作品。

943 ろ  
ペットショップはぼくにおまかせ



ヒルケ・ローゼンボーム 作  
若松 宣子 訳  
岡本 順 絵  
徳間書店 142P ¥1,400+税

少年ティミーは、行きつけのペットショップの店主が留守の一週間、店番をするよう、オウムとカメに頼まれた。人間の言葉を話す動物たちと協力し、ペットショップに来る客のおかしな悩みを解決していく。ティミーと客たちのやりとりがユニークで楽しい物語。

中学年（3・4年）から

949 し  
ペテフレット荘のブルック 上・下



アニー・M. G. シュミット 作  
西村由美 訳  
フィーブ・ヴェステンドルフ 絵  
岩波書店 上216P ¥1,900+税  
下222P ¥1,900+税

小さな赤いクレーン車に乗った男の子ブルックは、ペテフレット荘の塔の部屋に住むことに。ハトのドリーや女の子アーヒエたちと一緒に、キジバト森を守ったり、絶滅したはずの鳥を助けたりと大活躍。短いお話がどんどんつながる物語。カラーの挿絵が楽しい。

949 り  
おもしろ荘の子どもたち  
(岩波少年文庫 194)



アストリッド・リンドグレーン 作  
石井登志子 訳  
岩波書店 271P ¥720+税

お転婆なマディケンと妹リサベットは、毎日何かしら事件を巻き起こしてしまう。いたずら心と正義感あふれる子どもたちと、まわりの大人たちの温かな日常生活が、スウェーデンの自然を背景に綴られる。続編に『川のほとりのおもしろ荘』などがある。新版。

963 こ  
雨あがりのメデジン  
(鈴木出版の海外児童文学 この地球を生きる子どもたち)



アルフレッド・ゴメス＝セルダ 作  
宇野和美 訳  
鈴木出版 173P ¥1,400+税

カミーロは10歳。親友アンドレスといつも一緒。父親に暴力をふるわれ、盗みを強要される毎日だが、図書館のマールさんに出会い、二人の心がゆれ動き始める。コロンビアの町メデジンで、貧困と暴力のはびこる中、希望を見つけ生きようとする少年たちの友情物語。

小学校高学年から

(31 点)

E  
アンネの木



イレーヌ・コーエン＝ジャンカ 作  
石津ちひろ 訳  
マウリツィオ・A. C・クゥアレーロ 絵  
くもん出版 32P ¥1,500+税

第二次大戦中、オランダにあったアンネの隠れ家。その裏庭に立っていたマロニエの木が見たユダヤ人迫害の様子を、アンネの書いた日記を交え淡々と語る。繊細なタッチと抑えた色調の絵で重苦しい時代の空気を伝える。『アンネの日記』に登場する木がモデル。

E  
空城の計  
(三国志絵本)



唐 亜明文  
于 大武 絵  
岩波書店 32P ¥1,600+税

中国の三国時代、蜀の国の孔明は圧倒的多数の敵を前に城の明け渡しを迫られる。絶体絶命の危機に、名軍師・孔明が戦わずして勝利したその戦法とは？ 壮大な歴史書の一話を色彩豊かで躍動的な絵とともに描く。三国志絵本『七たび孟獲をとらえる』も同時刊行。

913 あ  
「リベンジする」とあいつは言った  
(ノベルズ・エクスプレス 15)



朝比奈 蓉子 著  
スカイ エマ 絵  
ポプラ社 207P ¥1,300+税

ぼくらの悪ふざけのせいで骨折し入院した転校生の江本。罪悪感を抱き一人見舞いに訪れると、彼は「リベンジする」と宣言し、次々と用事を言いつける。洪々従うぼくだが、そのうちに互いが気付き見えてきたものは？思春期の友情と勇気を問う、爽やかな物語。

913 お  
きんいろのさかな・たち  
(くもんの児童文学)



大谷 美和子 作  
平澤 朋子 画  
くもん出版 191P ¥1,300+税

別居する女優の母に戻ってきて欲しいと願うマリを描く「きんいろのさかな」、介護に追われる母を気遣うあずさの「わらいねこ」など、それぞれに家族の問題を抱える小学6年生の少女たちの5つの物語。否応なく巻き込まれる現実に向き合う姿を、のびやかに描く。

913 お  
おじいちゃんが、わすれても…  
(ノベルズ・エクスプレス 10)



大塚 篤子 作  
こころ 美保子 絵  
ポプラ社 221P ¥1,300+税

おじいちゃんの認知症が進み、行方不明になったまま迎えた朝は、杏のテニス大会当日だった。幼い自分にテニスを教えてくれたおじいちゃんの姿を思い出し「ハチツナシレ」というヘンテコな言葉に込められた家族の絆に気付く杏。ほのぼのとした愛情溢れる物語。

高学年（5・6年）から

913 か  
帰命寺横丁の夏



柏葉幸子 作  
佐竹美保 絵  
講談社 332P ￥1,700+税

きみょうじ  
帰命寺様に祈れば、大切な人が生き返ってくる？大人たちの謎めいた策略から、生き返ったあかりを守ろうと奮闘する和弘のひと夏の物語。作中作は、あかりが前の人生で読みかけだった未完の小説。二つの物語が、それぞれに後悔のない生き方について問いかける。

913 こ  
むこうがわ行きの切符  
(ノベルズ・エクスプレス 13)



小浜ユリ 作  
岩清水 さやか 絵  
ポプラ社 192P ￥1,300+税

夏祭りの日、5年生の健斗は夜店のお兄さんから、一回だけ好きなどころに行ける切符をもらう。その切符で未来へ行った健斗が出会ったのは……（「ふしぎな切符」）。心温まる話や背筋がゾクッと話す話など、少年少女が時間を超え不思議な体験をする5つの短編集。

913 す  
赤い髪のミウ



末吉暁子 著  
平澤朋子 画  
講談社 268P ￥1,400+税

沖縄の離島に留学した6年生の航は、謎を秘めた女の子ミウと出会う。ミウに見える「ヒジ」は航には見えず、素直に信じることができない。が、海で溺れ行方不明のミウを助けたいと一心に祈る航の前に現れたのは……。神と共存する島が舞台の少年の成長物語。

913 な  
あしたは晴れた空の下で



中澤 晶子 作  
小林 ゆき子 絵  
汐文社 187P ￥1,400+税

1986年、チェルノブイリ原子力発電所で事故が起き、ドイツに住む少年トオル達は、放射能の影響に強い不安を感じていた。だが同級生のマドンナBは、原発だけを責めるのは不公平と主張する。原発と人類との共存の可否を問いかける。東日本大震災を機に改装復刊。

913 な  
願かけネコの日  
(ティーンズ文学館)



那須田 淳 作  
スカイ エ マ 絵  
学研教育出版 205P ￥1,200+税

神社で願掛けした帰りに崖から落ちた浩介は、気付くと三途の川にいた。願の成就のため神様から6日間の命を与えられ、ネコの脱衣婆・だっちゃんの助けを借り、初めて真剣にテニスに取り組む。さえない中学生浩介が生きることの大切さに気付く姿を軽妙に描く。

913 は  
ヘヴンリープレイス  
(ノベルズ・エキスプレス 8)



濱野 京子 作  
猫野 ペすか 絵  
ポプラ社 205P ￥1,200+税

受験前に塾に行けなくなってしまった和希。引っ越し先で出会った英太に連れて行かれた雑木林の中の廃屋には、悩みを抱える子どもたちと「老師」がいた。そこで過ごす毎日と和希の心を少しずつほぐしていくが……。現代社会に生きる子どもたちの旅立ちを綴る。

高学年（5・6年）から

913 み

あの夏、ぼくらは秘密基地で  
(スブラッシュ・ストーリーズ 8)



三輪裕子 作  
水上みのり 絵

あかね書房 189P ¥1,200+税

祖父が残した山荘で、6年生のケンはずいといとこたちと子どもだけで夏休みの幾日かを過ごす。ケンには以前から計画していた山の縦走に出かけるが、雷雨にあい足を捻挫して動けなくなる。自然の中で自分の役割と責任を自覚し成長する子どもたちの姿を描いた一冊。

923 し

大草原のちいさなおオカミ



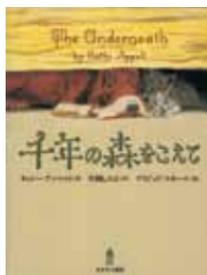
姜戎 作  
唐亜明 訳  
関野喜久子 訳

講談社 302P ¥1,600+税

中国文化大革命の時代、北京の学生チェンジェンがモンゴル草原に移り住む。彼は長老に教わった野生狼の勇敢で狡猾な姿に魅了され、掟に背き狼を捕まえ飼いならそうとする。遊牧民が敬い守る自然と、人間の身勝手さの狭間で苦悩する青年を描いた、自伝的作品。

933 あ

千年の森をこえて



キャシー・アップルト 著  
片岡しのぶ 訳  
デイビッド・スモール 絵

あすなろ書房 327P ¥1,800+税

テキサス州のうっそうとした森に一匹のネコが迷い込む。一方、森の大木の根元では魔性の生き物が千年の眠りから目覚めようとしていた。ネコの親子、老いた猟犬、ヌママムシの襲撃……。それぞれのストーリーが過去と現在を交錯しながら収束していく、壮大な物語。

933 あ  
 パパのメールはラブレター！？



メアリー・アマート 作  
 尾 高 薫 訳  
 徳間書店 318P ￥1,600+税

劇の主演を目指す12歳のフランキーは、父と弟二人との4人暮らし。家でも学校でも優等生だが、一通のメールがきっかけで嘘をつき周囲と対立する。親の恋が許せず自分の気持ちを持って余す少女が、自信を取り戻すまでの日々を、父の恋人と交わすメールと日記で綴る。

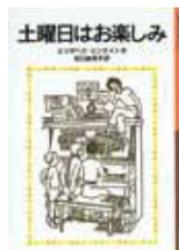
933 あ  
 ウィッシュ



フェリーチェ・アリーナ 作  
 横 山 和 江 訳  
 講談社 147P ￥1,100+税

ダウン症で同じ年の子より幼い16歳のセブは、今までで一番の願い事を叶えようと飛行場をめざし家出する。心ない人、警察に通報する人がいる中、信頼できる友だちに出会う。障害を持つ少年の、一途に奇跡を信じる姿に心打たれる、オーストラリアの作品。

933 え  
 土曜日はお楽しみ  
 (岩波少年文庫 201)



エリザベス・エンライト 作  
 谷 口 由美子 訳  
 岩波書店 301P ￥720+税

ニューヨークに住むメレンディ家の4人きょうだい冒険クラブを結成。土曜日ごとに、憧れの劇場やサーカスなどへ出かける。先々での素敵な出会いや交流、うっかりミスからの事件など、感性豊かな子ども達が引き起こす出来事を生き生きと描く。原書は1941年刊。

高学年（5・6年）から

933 お  
片腕のキャッチ



M・J・アウク 作  
日 当 陽 子 訳  
フレール館 223P ￥1,400+税

父親の精肉店で手伝いをしていて左手を失ってしまったノーム。彼を支えたのは母の愛情ある厳しさと、本音で語り合える親友だった。もう一度野球をするために、現実に向き合い工夫と努力を重ねる少年の姿を明るく爽やかに描く。実話をベースにした物語。

933 か  
ジャミーラの青いスカーフ



ルクサナ・カーン 作  
もりうち すみこ 訳  
さ・え・ら書房 318P ￥1,600+税

母の死後、生活力のない父に働き手として扱われ他人の家を転々とするジャミーラ。ついには置き去りにされるが、孤児院で自分の居場所を見つける。タリバン政権崩壊後のアフガニスタンで、イスラム教の教えに従って生きようとする少女の姿を、事実をもとに描く。

933 き  
11をさがして  
(文研じゅべにーる)



パトリシア・ライリー・ギフ 作  
岡 本 さゆり 訳  
佐 竹 美 保 絵  
文研出版 191P ￥1,400+税

この家の子じゃない!?—11歳を前に、サムは自分の生い立ちを疑う。カギとなる古い新聞を読むため、識字障害の彼が頼ったのは転校生のキャロライン。不安を抱えながらも“11”にまつわる記憶をたどり、二人は真相を探っていく。家族の絆と友情を描く物語。

933 す  
きみに出会うとき



レベッカ・ステッド 著  
ないとう ふみこ 訳  
東京創元社 265P ￥1,900+税

12歳のミランダは、ある日図書室の本の間から自分あてのメモを見つけるが、差出人は不明で、謎めいた内容だった。それは次第に現実となっていく。彼女の前に現れる怪しい男は一体何者？ニューヨークを舞台に、子どもたちが不思議な体験をするSFミステリー。

933 は  
小公女  
(福音館古典童話シリーズ 41)



フランシス・ホジソン・バーネット 作  
高 楼 方 子 訳  
エセル・フランクリン・ベッツ 画  
福音館書店 405P ￥2,300+税

裕福な父の死により、今までの特別扱いから一転し、寄宿学校の下働きの生活を強いられるセーラ。つらく悲惨な暮らしの中でも想像力を働かせ、誇りと気品を失うまいとする彼女だが……。時代を超えて読み継がれてきた古典の完訳新版。解説も理解を深める。

933 ふ  
〈天才フレディ〉と幽霊の旅



シド・フライシュマン 作  
野 沢 佳 織 訳  
徳間書店 169P ￥1,400+税

第二次大戦後、元兵士のフレディは腹話術師となる。ある晩ナチスに殺されたユダヤ人だという少年の幽霊にとりつかれ、彼がこの世でやり残した事を手伝えることに。観客を笑わせつつホロコーストを語る腹話術人形のセリフから、迫害の真実が浮かび上がる。

高学年（5・6年）から

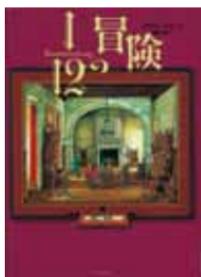
933 ふ  
ミンティたちの森のかくれ家  
(Modern Classic Selection)



キャロル・ライリー・プリンク 著  
谷口由美子 訳  
中村悦子 絵  
文溪堂 301P ¥1,600+税

少女ミンティは、パパと妹の3人家族。旅先の森で車が故障し、無人の別荘にかくれ住む。失業中でも呑気なパパと、生活への不安を抱く実直なミンティ。豊かな森の中で「最高の冬」を過ごす一家と周囲の人々が、ユーモアをもって描かれる。大恐慌時代の米国が舞台。

933 ま  
1 / 12の冒険



マリアン・マローン 作  
橋本恵 訳  
ほるぷ出版 335P ¥1,600+税

ルーシーは、宮殿などの部屋を1 / 12サイズで精緻に再現したミニチュアルームの中に入りたいと願っていた。親友のジャックが不思議な鍵を見つけたことから、二人は小さな部屋に秘められた古い魔法を知ることになる。実在の美術館が舞台の冒険ファンタジー。

943 う  
カイウスはばかだ  
(岩波少年文庫 206)



ヘンリー・ウィンターフェルト 作  
関楠生 訳  
岩波書店 348P ¥760+税

古代ローマ時代、貴族の少年7人と先生1人だけの学校で、ある日の授業中に生徒が悪戯で書いた落書きが、強盗や少年逮捕といった事件に！発掘された神殿にあった、「カイウスはばかだ」という子どもの落書きにインスピレーションを得て書かれた物語。再刊。

949 は  
ぼくたちとワッフルハート



マリア・パル 作  
松 沢 あさか 訳  
堀 川 理万子 絵  
さ・え・ら書房 239P ¥1,500+税  
トリレとレーナは幼馴染で大の仲良し。隣り合う互いの家の2階をロープで結んで渡ろうとして墜落するなど、愉快的騒動には事欠かない。大おばちゃんのお焼く世界一美味しいワッフルと、おじいちゃんの言葉がとびきり温かい。ほのぼのとしたノルウェーの物語。

949 ほ  
小さな可能性



マルヨライン・ホフ 著  
野 坂 悦 子 訳  
小学館 167P ¥1,300+税

父さんがいない子はクラスの半分。その中でも、ペットが死んだ子は更に半分……。戦地で行方不明になった父が死んだかもしれない不安を抱え、キークは子どもらしい思い込みから次々と奇怪な行動をとる。現代社会の中で不安と向き合う術を我々に問いかける。

953 ふ  
走れ！マズワラ



グザヴィエ＝ローラン・プティ 作  
浜 辺 貴 絵 訳  
PHP研究所 142P ¥1,400+税

アフリカのサバンナに住む少女シサンダは重い心臓病。走るのが大好きな貧しい農婦の母マズワラは、都会のマラソン大会の優勝賞金で手術費を工面できると知る。家族や素朴な村人たちの応援を背に懸命に走るマズワラ。聡明なシサンダの語りで綴る心温まる一冊。

高学年（5・6年）から

963 か  
フォスターさんの郵便配達



エリアセル・カンシーノ 作  
宇野和美 訳  
偕成社 254P ¥1,400+税

嘘ばかりついて学校もさぼりがちなペリーコ。偽札事件に巻き込まれるが、英国人フォスターさんとの出会いを機に多様な生き方に気付き、新しい世界へ踏み出す。スペイン内戦後の複雑な大人社会の中、思春期の入口に立つ少年の姿を美しい海辺の村を舞台に描く。

989 ふ  
昔むかしの物語



イワナ・ブルリッチ=マジュラニッチ 作  
山本郁子 訳  
富士房インターナショナル 286P ¥1,600+税

魔法の森でへびに惑わされた若者が老母のおかげで真実に目覚める話など、家族愛や本当の幸福について、示唆に富む8話を収める。スラブの国々に伝わる民話に由来するという種々の登場人物は個性的。クロアチア人の作者の想像力あふれる語りも味わい深い。

## 中学生から

(32 点)

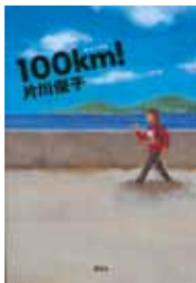
913 お  
幸せの器



おぎぜんた 作  
坂田 泉 絵  
偕成社 238P ¥1,400+税

両親を亡くした12歳のアイザックは、ナイロビの親戚の家に引き取られるが、貧しく学校にも行けない。ある日、ゴミ拾いをして生活する少年と出会い、一緒に仕事をするようになる。アフリカのスラム街で、親の庇護がない中でも逞しく生きる子どもたちを描く。

913 か  
100km!



片川 優子 著  
講談社 143P ¥1,200+税

高校生のみちるは、叔父が勝手に申し込んだ100kmウォークに参加する羽目に。土砂降りの上、足裏に水ぶくれ。リタイアしたくなるが、事故後のリハビリを拒絶する母を思い、他の参加者たちに力を得て完歩をめざす。実在の大会を題材にした、一日半の成長物語。

中学生から

913 す  
セキタン!



須藤靖貴 著

講談社 252P ￥1,400+税

進路に悩む中学3年生のオオゼキは、ある日、謎の男から熱烈に勧められ、今まで興味すらなかった相撲の道を選択する。相撲を経済的観点から調べた結果、高校進学を捨てたのだ。目標を定め、困難に立ち向かい、紆余曲折を経て番付を上げていく若者の姿を描く。

913 ま  
鉄のしづきがはねる



まはら三桃 著

講談社 237P ￥1,400+税

工業高校のクラスで紅一点の心。気乗りしないまま、文化祭のために鉄のサイコロを作ることに。祖母や憧れの先輩の助言によって、次第に職人の仕事の真髄に触れ、「ものづくり甲子園」に挑戦する。技を磨くことに一途に打ち込む高校生像に静かな感動を感じる。

913 よ  
風の海峡 上・下



吉橋通夫 著

講談社 上190P ￥1,300+税  
下181P ￥1,300+税

貿易商の父と対馬で暮らす進吾には、釜山に家族ぐるみのつきあいをする兄妹がいた。ところが、太閤秀吉が朝鮮出兵を命じたために、敵味方に分かれてしまい——。進吾の目線で戦争を見つめ、二つの国が善隣友好の関係をどう築くかを問いかける歴史物語。

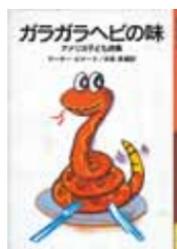
929 し  
父さんの手紙はぜんぶおぼえた



タミ・シユム＝トヴ 作  
母 袋 夏 生 訳  
岩波書店 270P ￥2,100+税

ナチス占領下のオランダに住むユダヤ人少女リーネケは、小さな村の家に匿われた。彼女のもとには、別の場所に隠れ住む父親からの愛情溢れる絵入りの手紙が密かに届けられ……。実在の女性の記憶と、危険を冒して保管されていた9通の手紙を基に描かれた作品。

930 ひ  
ガラガラヘビの味  
(岩波少年文庫 196)



アーサー・ビナード 編訳  
木 坂 涼 編訳  
岩波書店 190P ￥640+税

「お行儀なんか気にしなくていい。そのまま指でつまんで、がぶっとかぶりついて大丈夫。」(「詩の食べ方」)。このほか、愉快的詩や皮肉めいた詩、少し切ない詩など全62篇を収めた米国の詩のアンソロジー。先住民の歌から現代の詩人の作品まで幅広く紹介している。

933 う  
図書室からはじまる愛



パドマ・ヴェンカトラマン 著  
小 梨 直 訳  
白水社 260P ￥2,200+税

第二次大戦中のインドは英国統治下にあった。隆盛する独立運動に巻き込まれたヴィドヤの父は不随になり、一家は祖父のもとへ身を寄せる。親族に虐げられる日々の中、彼女はある日屋敷内の入室禁止の図書室へ……。いかなる差別にも屈せず己を貫く少女を描く。

中学生から

933 え  
きみ、ひとりじゃない



デボラ・エリス 作  
もりうち すみこ 訳  
さ・え・ら書房 287P ¥1,600+税

密輸業者の船で出会ったアブドゥル、チェスラブ、ロザリアは、戦争や貧困等を理由に各々の母国を出てきた不法移民。3人は暗い過去を持つが、夢を支えに生きぬくため共に英国をめざす。知恵と度胸で困難を乗り切る少年たちの逞しさに、人が本来持つ力が見える。

933 お  
サリーの帰る家



エリザベス・オハラ 作  
もりうち すみこ 訳  
吉 實 恵 画  
さ・え・ら書房 295P ¥1,700+税

父親が急死し、家事が苦手な13歳のサリーは学校をやめて働きに出ることに。故郷から遠く離れた農場の主人に雇われて、家事や子どもの世話をしたが……。19世紀末のアイルランドを舞台に、自分の生きる道を模索しながら成長する少女の姿を描いた3部作の第1作。

933 く  
闇のダイヤモンド  
(海外ミステリーBOX)



キャロライン・B・クーニー 作  
武 富 博 子 訳  
評論社 340P ¥1,600+税

高校生のジャレットの一家は、両手首のない父や怪しげな遺灰の箱を持つ兄ら難民の4人家族を預かる。秘密をかかえた彼らの背後には、第5の男が！武器購入の資金源ダイヤモンドを絡め、アフリカの抱える問題を提起しつつ、米国の日常もリアルに描くミステリー。

933 く  
彼女のためにぼくができること  
(YA Step!)



クリス・クラッチャー 著  
西田 登 訳  
あかね書房 350P ¥1,500+税

大やけどの跡を顔に残すサラが心を閉ざし入院した。彼女との変わらぬ友情の証に「変わらず」デブでいようとす  
るエリック。周囲から蔑視されつつも、二人を支える大人と共に解決策を模索する——。虐待や宗教等、社会の問題に目を向け、自らの道義を問う作品。

933 く  
アニーのかさ



リサ・グラフ 作  
武富博子 訳  
講談社 255P ¥1,400+税

兄を突然失ったアニーは、死を恐れるあまり、医学書を盗んで読むほど過剰に体を気遣うようになる。ある日、近所に引っ越してきたおばあさんとの出会いを契機に、彼女の頑なな心が和らぎ始める。心に傷を抱えた少女と周りの人たちとの温かい触れ合いの物語。

933 く  
ロス、きみを送る旅



キース・グレイ 作  
野沢佳織 訳  
徳間書店 318P ¥1,600+税

急死した親友ロスのために最高の葬式をしようと、15歳の少年3人は遺灰を盗み、彼の行きたがっていた町へ向かう。思わぬ出来事が次々起こる旅の中で、明らかになる真実とは？少年たちのゆれ動く友情と死に対する戸惑いが、軽妙な会話を通じて等身大に描かれる。

中学生から

933 く  
はるかなるアフガニスタン  
(講談社文学の扉)



アンドリュー・クレメンツ 著  
田中奈津子 訳  
講談社 201P ￥1,400+税

米国の少女アビーは、学校の特別課題で手紙を出す。ところが送り先のアフガニスタンの村では男女の文通はご法度。そこで妹の名を借り兄サディードが返信し……。互いの暮らしや感じ方を初めて知ることによって広がる視野。国を超えて心が繋がった子どもたちの物語。

933 け  
墓場の少年



ニール・ゲイマン 著  
金原瑞人 訳  
角川書店 295P ￥2,500+税

ある一家が惨殺され、よちよち歩きの赤ん坊だけが真夜中の墓地に逃げ込んだ。彼はノーボディと名付けられ、姿を消すなど特殊な技を習得する。そこへ再び暗殺者が迫る。幽霊たちの愛情溢れる子育て、生者と死者の狭間で起こる奇怪な出来事をスリリングに描く。

933 け  
ダーウィンと出会った夏



ジャクリーン・ケリー 作  
斎藤倫子 訳  
ほるぷ出版 412P ￥1,500+税

11歳のコーリーがバッタの生態を尋ねたことから、変わり者の祖父との交流が始まる。標本採集や研究を手伝う日々は、彼女にとって輝かしい時間だった——。20世紀目の米国を舞台に、当時の社会が望む女性の生き方を選ばず、博物学に没頭していく少女を描く。

933 さ  
ほこりまみれの兄弟



ローズマリー・サトクリフ 著  
乾 侑美子 訳  
評論社 325P ￥1,700+税

意地悪なおばさんの家から逃げ出した10歳の孤児の少年ヒュー。父の遺志を継ごうと学問の都オクスフォードへ向かうが、途中出会った旅芸人の一座に魅せられ仲間に入れてもらうことに。16世紀の英国で、旅を通して成長し、悩みながら人生の選択をする少年の物語。

933 す  
古代エジプトのものがたり  
(大型絵本)



ロバート・スウィンデルズ 再話  
百々 佑利子 訳  
スティーブン・ランバート 絵  
岩波書店 89P ￥2,100+税

3000年続いた古代エジプト文明で語り継がれ、ヒエログリフの解読で甦った神話の中から17話を紹介。太陽神や女神たちの物語は、嫉妬、権力闘争、一途な愛など人間らしい感性に満ちている。砂漠を思わせる色合いの絵から、雄大な神話の世界が味わえる一冊。

933 せ  
灰色の地平線のかなたに



ルータ・セペティス 作  
野 沢 佳 織 訳  
岩波書店 398P ￥2,100+税

1941年ソ連占領下のリトアニア。リナの父が亡命者に手を貸したため、一家はシベリアへ追放される。寒さと飢えと虐待の中、15歳のリナは愛とユーモアを失わず、帰郷を夢見て得意の絵で収容所生活を描きためていく。作者の父の亡命体験に着想を得てできた作品。

中学生から

933 た  
bog・チャイルド



シヴォーン・ダウド 作  
千葉茂樹 訳  
ゴブリン書房 478P ¥2,000+税

高校生ファーガスが、泥炭盗掘中に発見したものは、2000年前の少女の絞殺死体だった。一方、彼の兄は北アイルランド解放運動に心酔し家族を翻弄する。医者志望の若者の葛藤や淡い恋心、古代の謎……。現代に古代の視点を織り交ぜ、一気に読ませる意欲作。

933 ね  
怪物はささやく



パトリック・ネス 著  
シヴォーン・ダウド 原案  
池田真紀子 訳  
あすなる書房 221P ¥1,600+税

病床の母と暮らすコナーの元へ、イチイの木が怪物が来た。3つの話を語るから4つ目はお前が語れ——。怯えるコナーだが、それは彼に必要な物語だった。原案者の難解なテーマを新進気鋭の著者が読み応えのある秀作に仕上げた。モノトーンの絵が迫力を添える。

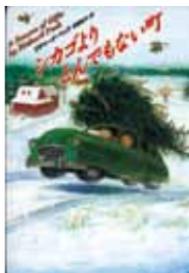
933 ね  
鉄道きょうだい



E. ネズビット 著  
中村妙子 訳  
教文館 373P ¥1,600+税

父が突然連行されたため、一家は田舎へ引っ越した。3きょうだいは、近くの駅に出入りするうちに鉄道が好きになり、駅員さんとも親しくなっていく。ある日、3人は線路の地滑りを見つけ……。蒸気機関車が活躍した時代のさわやかで温かい英国の物語。改題新訳。

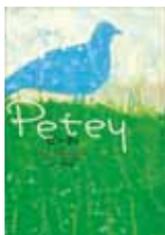
933 ヘ  
シカゴよりとんでもない町



リチャード・ペック 著  
斎藤倫子 訳  
東京創元社 205P ￥1,900+税

牧師一家の引っ越し先は、90歳近いダウデル夫人のお隣り。赴任した教会は閑古鳥が鳴いていたが、夫人が仕掛けた幽霊騒動のお陰で礼拝者が増えてきて……。 「正義が行なわれなければ報復せよ」を地でいく元気で豪胆なダウデル夫人の痛快な物語。シリーズ第3弾。

933 ま  
ピーティ  
(鈴木出版の海外児童文学 この地球を生きる子どもたち)



ベン・マイケルセン 作  
千葉茂樹 訳  
鈴木出版 333P ￥1,500+税

1920年、脳性まひの障害を持って生まれたピーティ。何も理解できないと誤解され、収容施設で単調な毎日を送るが、彼の意図を察してくれる友人と出会い……。障害が正しく認識されていなかった時代の実情と、喜びの中で生きていくピーティの姿を描く。

933 ま  
クロティの秘密の日記  
(くもんの海外児童文学)

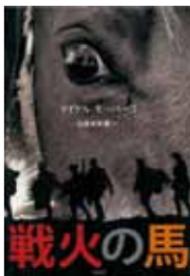


パトリシア・C・マキサック 作  
宮木陽子 訳  
くもん出版 287P ￥1,500+税

南北戦争前の米国南部。奴隷は学ぶことを許されない中、12歳の少女クロティは仕事に字を覚え、隠れて日記を書き、怯える日々を過ごす。奴隷逃亡に協力するうちに自由の情景が見えてくる。徐々に上手くなる綴りに将来への希望が感じられる、日記形式の作品。

中学生から

933 も  
戦火の馬



マイケル・モーパーゴ 著  
佐藤 見果夢 訳  
評論社 206P ¥1,300+税

馬のジョーイは、イギリスの農場で愛する少年と穏やかに暮らしていた。しかし戦争が始まり、ジョーイは騎兵隊用の軍馬として遠い戦場へと送られることになる。第一次世界大戦下の戦場を駆け巡る馬の視点から、戦争の悲惨さと、少年との絆を描いた物語。

933 ら  
ハティのはてしない空  
(鈴木出版の海外児童文学 この地球を生きる子どもたち)



カービー・ラーソン 作  
杉田七重 訳  
鈴木出版 397P ¥1,600+税

第一次大戦中の米国。死亡した伯父の跡を継ぐため、16歳の孤児ハティは西部へ移り住んだ。土地獲得のために、10か月で40エーカーを開墾しなければならない過酷な現実と闘うハティ。隣人に支えられ、自分の居場所を見つけようと懸命に生きる少女の姿を描く。

933 ら  
もういちど家族になる日まで



スザンヌ・ラフルーア 作  
永瀬比奈 訳  
徳間書店 313P ¥1,600+税

父と妹を交通事故で失ったうえ、母が家出。残されたオーブリーは、祖母に引き取られる。祖母から渡される「やることリスト」をこなし、親友と遊ぶうちに少しずつ日常をとり戻していく。絶望から立ち直っていく11歳の少女の心のひだを、一人称で繊細に描く。

933 る  
どこからも彼方にある国  
(YA Step!)



アーシュラ・K・ル＝グイン 著  
中村浩美 訳  
あかね書房 198P ¥1,300+税

オーウェンは両親とは意見が合わず、志望大学には進学させて貰えそうもなく、親友と呼べる友人もない。ある日、作曲の才能を持つナタリーと出会い意気投合し付き合いたいと願うが……。ファンタジーの巨匠が青春のきらめきを爽やかに綴る。改題新訳版。

943 さ  
愛の一家  
(福音館文庫)



アグネス・ザッパー 作  
遠山明子 訳  
マルタ・ヴェルシュ 画  
福音館書店 455P ¥850+税

ペフリング家には子どもが7人。流星を見に出掛けたら大家さんに不良クラブ通いと間違われて閉め出されたり、市場のもみの木に見とれていたらなぜだか運ぶ羽目になったり。一家に連日起こる騒動はほのほのとして、心温まる。1907年出版のドイツの名作の完訳。

943 ふ  
マルカの長い旅



ミリヤム・プレスラー 作  
松永美穂 訳  
徳間書店 286P ¥1,600+税

7歳のマルカと母姉は、ユダヤ狩りを避けるためポーランド国境を目指す。道中発熱したマルカは民家に一人残されるが、その家の主人に裏切られ……。空腹に耐え、身を隠しながら家族を探す7か月間の一人旅。マルカと母の視点を交互に織り交ぜ、実話を基に描く。

ノンフィクション

(30 点)

E (低学年から)

あさがお



荒井真紀文・絵

金の星社 32P ￥1,200+税

小さな黒い1粒の種。土の中に植えてみると、根を生やし、ふたばを開き、どンドンつるを伸ばしていく。夏には色とりどりの美しい花を咲かせ、秋には200個以上の種がとれる。あさがおの成長と新しい命へのつながりを、写実的に描いた、科学絵本。

220 か (高学年から)

万里の長城



加古里子文

加古里子絵

常嘉煌絵

福音館書店 63P ￥1,700+税

ユーラシア大陸の誕生、生物や人類の進化、歴代の王朝の文化・文明の変遷など、万里の長城を中心に、その背後にある中国の長い歴史や他民族との関係の移り変わりを、分かりやすくまとめた一冊。年表、地図、絵など、豊富なカラーのイラストが理解を助ける。

281 な (中学年から)  
わがはいは中村春吉である。  
—自転車で世界一周無銭旅行をした男—  
(くもんの児童文学)



横田 順 彌 作  
岩 淵 慶 造 絵  
くもん出版 157P ¥1,300+税

今から100年以上も昔、当時30歳だった春吉は、商業視察のため横浜港を出発する。行く先々で働きお金を得るといふ無謀な計画のもと、一年をかけ自転車で世界一周の旅をやりとげた。危険な目に遭いながらも信念を曲げず、前向きに旅を続けた春吉の挑戦を描く。

281 は (中学生から)  
星空に魅せられた男 間重富  
(くもんの児童文学)



鳴 海 風 著  
高 山 ケンタ 画  
くもん出版 318P ¥1,500+税

江戸時代に、世界で最高精度のからくり時計「垂揺球儀」を完成させ、「寛政の改暦」という大事業を成し遂げた間重富。大阪の質屋の主人でありながら、幕府の天文方御用を務めるまでになり、天文暦学の発展に寄与した彼の生涯を綴る。巻末に、重富の年譜を付す。

283 こ (低学年から)  
子どものためのコルチャック先生



井 上 文 勝 著  
ポプラ社 30P ¥1,400+税

裕福なユダヤ人家庭で育った少年は、のちに孤児院の院長となる。彼は子どもたちと共にゲットーへ移住させられるが、一貫して子どもの権利の尊重を訴え続けた。医師であり教育者でもあったコルチャック先生の生涯を、わかりやすい文章と豊富な写真で紹介する。

ノンフィクション

294 さ (高学年から)  
どうしてアフリカ? どうして図書館?



さくま ゆみこ 著  
沢田 としき 絵  
あかね書房 163P ¥1,300+税

アフリカの文化や暮らしぶりに触れるうち、その魅力に取り付かれた著者。食料や医療など、生きていくために必要な援助だけでなく、広い世界への窓となる図書館を作ろうと立ち上がる。様々な人々に助けられて広がる国際協力活動を、アフリカの現状と共に語る。

297 な (低学年から)  
南の島  
一カピンガマランギー



長倉 洋海 著  
偕成社 64P ¥1,800+税

赤道直下の島、カピンガマランギー。珊瑚の道かける少女、ヤシの実を収穫する男性、スコールを浴びる少年、ハンモックで眠る母娘など、自然の恵みの中で暮らす島民の生き生きと輝く表情を、色彩豊かな写真で伝える。『北の島—グリーンランド—』も同時刊行。

310 し (中学生から)  
印刷職人は、なぜ訴えられたのか



ゲイル・ジャロー 著  
幸田 敦子 訳  
あすなる書房 103P ¥1,300+税

1730年代のニューヨークでは、英国から派遣された新総督と住民との対立が深まっていた。反総督派が新聞を発行して総督批判を始めると、それは紙上の論戦、法廷闘争へと発展し……。独立前の米国で起こった、言論・報道の自由をめぐる闘いの真相を伝える。

310 や (高学年から)  
戦争を取材する  
—子どもたちは何を体験したのか—  
(世の中への扉)



山本美香 著

講談社 190P ￥1,200+税

戦場ジャーナリストの著者が世界各地の戦地で懸命に生きる子どもたちを取材。戦争とはなにか、平和のためにはどうしたらいいのか訴えかける。各章の始めでは、それぞれの国の紛争の経緯を簡潔に紹介している。著者は2012年、戦闘に巻き込まれ死亡。

320 け (中学年から)  
「けんぽう」のおはなし



井上ひさし 原案

武田美穂 絵

講談社 56P ￥1,300+税

井上氏が生前、小学生に向けて語った内容をもとに作成された絵本。日本国憲法がつくられた背景や、人権を尊重することの大切さなどを中心に解説している。国と国民、世界の中での日本など、身近な事例を挙げ、子どもたちにわかりやすい言葉で説明。

369 こ (高学年から)  
震災が教えてくれたこと  
—津波で家族3人を亡くした新聞記者の記録—



今野公美子 著

朝日学生新聞社 181P ￥1,000+税

2011年3月11日、東日本大震災が起こった。東京で勤務していた著者は、情報が錯綜する中、宮城県の実家によく戻った。津波で押し流された町で、必死に家族を捜す著者の1か月に及ぶ記録と、残された多くの遺族たちの思いを、感情を抑えた筆致で描く。

379 は (中学生から)  
ヒトラー・ユーゲントの若者たち  
一愛国心の名のもとに



S. C. パートレットイ 著  
林 田 康 一 訳  
あすなる書房 223P ¥1,300+税

ヒトラーに献身的につくす十代の若者たちの組織、ヒトラー・ユーゲント。緻密な調査と、当時の団員やユダヤ人へのインタビューをもとに、彼らがどのように教育され、どのような役割を果たしたのかを具体的に描く。事実に基づきナチスドイツの真相に迫る本。

380 も (中学年から)  
しめかざり  
(たくさんのふしぎ傑作集)



森 須磨子 文・絵  
福音館書店 40P ¥1,300+税

お正月に飾るしめかざりは、作り手や飾る場所、地域によって形がさまざま。俵や鶴など特徴的な形のものを取り上げるほか、しめかざりの作り方、付いているかざりの意味などを、温かみのある絵と共に伝えている。しめかざりに込められた人々の思いが伝わる一冊。

450 は (中学生から)  
鉄は魔法つかい  
一命と地球をはぐくむ「鉄」物語一



畠 山 重 篤 著  
スギヤマ カナヨ 絵  
小学館 222P ¥1,300+税

気仙沼のカキ漁師である著者は、「森は海の恋人」を合言葉に植林活動を行っている。森と海はどのような関係なのか？その謎を解く「鉄」の不思議を、日本と世界の様々な研究事例とともに紹介する。楽しいイラストの解説もあり、科学が苦手な人にも読みやすい。

- 470 は (幼児から)  
きのこ  
一ふわり胞子の舞—  
(ふしぎいっぱい写真絵本 18)



- 埴 沙 萌 写真・文  
ポプラ社 35P ¥1,200+税

さまざまな種類のきのこが、煙のような胞子を出す瞬間を捉えた写真絵本。胞子はやがて菌糸となり、次のきのこのもとになる。菌糸が枯葉を食べて成長することなど、意外と知られていないきのこの一面にも触れている。巻末には胞子を観察する方法も掲載。

- 481 え (高学年から)  
見つけるぞ、動物の体の秘密  
—動物かいぼう学者が挑む進化のなぞ—  
(くもんジュニアサイエンス)



- 遠 藤 秀 紀 著  
くもん出版 150P ¥1,400+税

あらゆる動物の死体を集め、解剖し、新たな発見を重ねながら、進化の謎や秘密に迫る動物解剖学。日々研究に邁進する著者の活動を、写真やイラストを交えて具体的に紹介する。科学への関心を高めるとともに、命や死について考えるきっかけにもなる。

- 486 し (高学年から)  
ぼくは昆虫カメラマン  
—小さな命を見つめて—  
(ノンフィクション・生きるチカラ 3)



- 新 開 孝 写真・文  
岩崎書店 150P ¥1,300+税

大学で昆虫学を学び、教育映画製作の現場を経て、昆虫カメラマンとなった著者が辿ってきた道のりや、その仕事ぶりを紹介。身近にいながらも謎の多い昆虫を、綿密に観察して撮影する様子から、仕事への情熱が伝わってくる。昆虫の生態写真も随所に掲載している。

488 き (高学年から)

きみの町にコウノトリがやってくる



キム・ファン 著

くもん出版 175P ¥1,400+税

絶滅に瀕していたコウノトリの人工飼育は、40年以上前に始まっている。だがその生態や環境の悪化などから、野生に復帰させるのは困難だった。コウノトリと共生できる環境を作るため、アジア地域まで広げて情報を共有し、協力しあう人々の努力と奮闘の記録。

488 す (中学年から)

日本の鳥の巣図鑑全259



鈴木 まもる 作・絵

偕成社 64P ¥2,400+税

今まで日本で巣を作り、卵をうみ、ヒナを育てたと記録のある鳥は、259種類。その生態や環境に合わせて作られた様々な形の巣や卵を、写実的で詳細なイラストで分かりやすく紹介する。眺めるだけでも楽しい図鑑で、巻末には日本の鳥の巣地図と索引を掲載。

488 は (高学年から)

リンゴの老木とフクロウ

—カメラマンが見つけた人と野鳥の共生—



浜田 尚子 著

文芸社 99P ¥1,100+税

偶然出会ったフクロウに魅せられ、青森に住む蛭沢さんは、リンゴ畑の老木に営巣する野生フクロウの姿を追うようになった。長年にわたる彼の活動を紹介するとともに、巣となる老木の減少、自然環境の変化など、フクロウを取り巻くさまざまな問題を伝える。

530 お (中学年から)  
おかえりなさいはやぶさ  
—2592日の宇宙航海記—



講談社 33P ￥1,500+税

探査機「はやぶさ」は、小惑星「イトカワ」をめざし、地球を出発。ところが機械の故障で行方不明になってしまった！様々なアイデアで困難を切り抜けた研究者たちの奮闘と、彼らの努力に応え、星の粒子を届けた「はやぶさ」の姿を、CGや写真などで紹介。

530 た (高学年から)  
みんなが知りたい放射線の話  
(ちしきのもり)



谷川勝至 著

少年写真新聞社 142P ￥1,500+税

放射能と放射線の違い、体への影響、放射線との付き合い方など、放射線に関する不安や疑問を、イラストを交え科学的に分かりやすく説明する。大人への解説、参考になる本やサイトの掲載、用語の説明もある。放射線に関する理解が深まる一冊。

540 あ (高学年から)  
春を待つ里山  
—原発事故にゆれるフクシマで—



会田法行文  
山口明夏 写真

ポプラ社 93P ￥1,500+税

2011年春、福島第一原発事故の影響で「計画的避難区域」に指定された地域を訪れた著者とカメラマンが、そこで農業や酪農などを営む4組の家族を取材。突然故郷を追われることになりながらも、前向きに生きようとする人々の姿を、豊富な写真とともに紹介する。

620 さ (低学年から)  
桜守のはなし



佐野 藤右衛門 作

講談社 32P ￥1,500+税

一年を通して気配りが必要な桜の木。それを守る桜守の仕事をまとめた写真絵本。普段、見る機会の少ない七つ道具や種まきの様子などを、方言をまじえた語りと美しい写真で紹介する。桜の植栽の第一人者である著者の、桜への深い愛情が感じられる。

640 た (高学年から)  
珍獣病院  
—ちっぽけだけど同じ命—



田向 健一 著

講談社 223P ￥1,500+税

幼少時からたくさんの動物と暮らした著者は、カメやモモンガなどさまざまな動物を治療している。動物を飼うということ、ペットに対する愛情とは何かなど、命に対する著者の思いを綴った本。犬と猫以外は珍獣とされる動物病院の日常も紹介されており興味深い。

750 お (高学年から)  
糸に染まる季節  
(ちしきのぼけっと 13)



大西 暢夫 写真・文

岩崎書店 36P ￥1,500+税

新潟県の染織家・岩田さんは、身近にある草木を使って、糸に色を染め込んでいる。その土地のその季節にしか染められない色にこだわり、四季の移り変わりに従って作業を進めていく。岩田さん一家や街の人たちの丁寧で温かい仕事ぶりを、鮮やかな写真で伝える。

916 い (中学年から)  
氷の海を追ってきたクロ  
(戦争ノンフィクション)



井上こみち 文  
ミヤハラ ヨウコ 絵  
学研教育出版 123P ¥1,200+税

終戦後、日本に帰れず、極寒の地シベリアで強制労働させられた日本人たち。厳しい境遇の中、彼らの心を慰め勇気を与えたのは、犬のクロだった。11年もの間、抑留生活に耐え生き抜いた3人の証言をもとに、過酷な事実と、逆境の中でも希望を失わない姿を伝える。

916 お (中学年から)  
はたらく地雷探知犬  
(講談社青い鳥文庫)



大塚敦子 文・写真  
講談社 165P ¥580+税

匂いを頼りに地雷を探し出す「地雷探知犬」。危険と隣り合わせて働く犬たちは、どんな訓練を受け、どうやって地雷を探しているのだろうか？ボスニアの訓練センターで生まれた子犬たちが、カンボジアの地雷原で活躍するまでを追った、4年半にわたる取材の記録。

916 さ (中学年から)  
イエローカードはぼくらの旗印



沢田俊子 著  
京都新聞出版センター 127P ¥1,400+税

脳性まひの少年雄也が、電動車いすサッカーを通し、自立していく姿を追う。本来マイナス評価であるイエローカードを旗印に、筋ジストロフィーや脳性まひの仲間たちが、互いに理解しあいながら勝利に向かって共に突き進む。彼らのひたむきな姿が胸を打つ。

ノンフィクション

916 た (高学年から)

折り紙でたくさんの笑顔を

-盲目の「折り紙大使」加瀬三郎物語-

(ヒューマンノンフィクション)



田 島 栄 次 文・写真

永 井 泰 子 絵

石 川 えりこ 絵

学研教育出版 119P ¥1,200+税

幼少期に失明した加瀬さんは、世界各地で折り紙の楽しさを伝え続けた。約30年間加瀬さんと活動を共にした著者が、その生涯を紹介。生い立ちや折り紙への情熱、戦争や災害に心を痛める人々との交流など、折り紙を通して世界中に笑顔が届けた姿を伝える。



子どもたちへ原爆を語りつぐ本  
— 総集版・2005 —  
— 補遺版4 —

## 1. 絵 本

(12 点)

E 〈広〉  
青い空

柳 生 研太郎 作・画

風詠社 31P 2011年



8月6日の原爆投下時、3歳3か月だった著者は、爆心地より2.3キロ離れた自宅で被爆し、父に連れられ山の中に逃れた。翌朝、勤め先へ向かった父が目にしたのは……。被爆直後の体験を、著者の母が残した手記をもとに、核廃絶への願いを込めて描いた絵本。

E 〈広〉  
海をわたった折り鶴  
(えほんひろば)

石 倉 欣 二 作

小峰書店 31P 2010年



白血病で亡くなったサダコちゃんは、鶴を折れば願いが叶うと信じていた。数十年後、兄のマサヒロさんはテレビで9.11のテロの様子を見て、妹が残した小さな赤い折り鶴をニューヨークへ届け、命の大切さ、尊さを伝えようとする。淡い色調の絵が優しく温かい。

E 〈広〉  
海をわたったヒロシマの人形  
(えほんのもり)



指 田 和 文  
牧 野 鈴 子 絵  
文研出版 32P 2011年

原爆投下後のヒロシマで拾われた人形を、海を隔てたアメリカで大切に、60年後、平和記念資料館に寄贈したナンシー。人形を通じて、被爆した人たちの恐怖や悲しみに想いを馳せ続けた女性の心情を、淡い色彩の絵と共に伝える。巻末には資料館の紹介もある。

E 〈広〉  
おりづるにのって  
—サダコと子どもたちの物語—



中 村 里 美 文  
吉 田 しんこ 絵  
ミュージズの里 32P 2010年

2歳の時に被爆したサダコは奇跡的に無傷で助かるが、10年後に白血病を発症し、12歳で短い生涯をとじる。サダコと平和を願う子どもたちの物語をやさしいイラストで描いた絵本。本文は英文併記。巻末におりづるの折り方と「おりづるにのって」の楽譜を収録。

E 〈広〉  
クロがいた夏  
—絵本—



中 沢 啓 治 著  
DINO BOX 46P 2011年

戦時下の広島で、真二はクロという猫を家族の一員としてかわいがっていた。しかし原爆が、父と弟、そしてクロの命を奪ってしまう——。実話をもとに描かれた漫画形式の絵本。著者のあとがきを加えた新装版で、戦争や核利用の恐ろしさ、愚かさを訴えている。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

E 〈広〉

昭和二十年八さいの日記

佐木隆三 文

黒田征太郎 絵

石風社 31P

2011年



終戦4か月前に8歳の誕生日を迎えた少年は、「国のために命をささげます」と誓った。8月6日の原爆投下を経て終戦後まで、当時軍国少年だった著者の心の移り変わりを、見開きいっぱい描かれた迫力ある絵と、日記形式の文章で伝える。

E 〈広〉

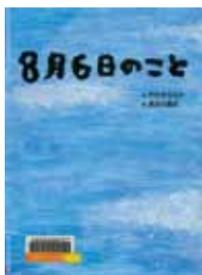
8月6日のこと

中川ひろたか 文

長谷川義史 絵

ハモニカブックス 32P

2011年



兵隊だった伯父は8月6日に原爆で亡くなった。当時16歳の母は一週間後、広島に入り惨状を目にする。おだやかな瀬戸内の海と廃墟となった広島を對比させた絵とともに、瀬戸内の島で暮らしていた著者の母の体験を伝え、静かに平和を訴える。英文併記。

E 〈長〉

ピカッ! ドン!!! はもうやめて!!!

-世界中を平和な笑顔でいっぱいになりたい-

久野登久子 文

佐藤八重子 絵

フレーベル館 23P

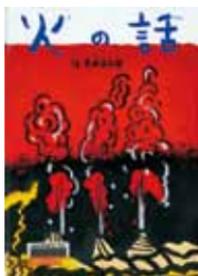
2010年



ある夏の日、お母さんは話してくれた。昔、長崎に原爆が投下され街が地獄絵のようになったこと。放射能の後遺症に苦しむ人々のこと。そして戦争のない世界を願い、行動する人々のこと。平和について考え始める子どもたちの姿を素朴な絵で描く。英文併記。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

E 〈広〉〈長〉  
火の話

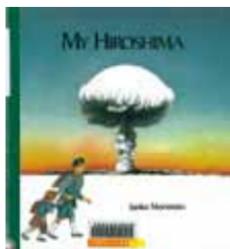


黒田 征太郎 作

石風社 32P 2011年

火を手に入れたことで人間の暮らしは便利になった。しかし、火への怖れを失くした人間は、火を武器として使うようになる。とうとう原子爆弾が落とされても、人間はまだ原子力を使い続け——。ダイナミックに描かれた絵で人間の愚かさに警鐘を鳴らす絵本。

E 〈広〉  
MY HIROSHIMA  
—わたしのヒロシマー—

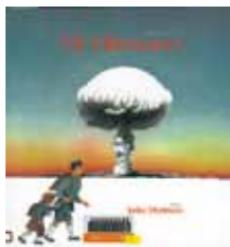


森本 順子 著

HPS国際ボランティア 37P 2010年

家族と平和に暮らしていた女の子の生活が、一発の原子爆弾で消えてしまった。思い出深いふるさとが、「その日」どうなってしまったかを、少女の視点でありのままに描く。1988年版に英文を併記した改訂版。巻末に関係者からのメッセージを追加。

E 〈広〉  
MY HIROSHIMA  
—わたしのヒロシマー—



森本 順子 作・絵

HPS国際ボランティア 37P 2011年

家族と平和に暮らしていた女の子の生活が、一発の原子爆弾で消えてしまった。思い出深いふるさとが、「その日」どうなってしまったかを、少女の視点でありのままに描く。2010年版の改訂。略歴・あとがきに英訳付記。関係者のメッセージ・著者あとがきを再編集。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

E 〈広〉  
やくそくのどんぐり



大 門 高 子 文  
松 永 禎 郎 絵  
新日本出版社 31P 2010年

広島原爆では3万人の韓国・朝鮮の人が亡くなったといわれ、戦後祖国に戻り、今なお原爆症に苦しむ人が大勢いる。ある男性の生涯を通して、海外在住の被爆者の苦悩を描いた絵本。巻末の解説で、韓国人被爆者を支援している広島の医師との交流にも触れる。



## 2. フ ィ ク シ ョ ン

### (5 点)

913 い 〈広〉  
この空の下で



井 上 雅 博 著

朝日学生新聞社 222P 2011年

広島市の草津の町で暮らす12歳の高志は、兄を戦争で亡くし、今度は姉が原爆で半身大やけどの重傷を負う。原爆投下による苦難と、それを乗り越え生きようとする人々の姿を、少年の視点で語る。未来への希望を持って生きることの大切さが伝わる物語。

913 な 〈広〉  
あやかし草子  
—現代変化物語—  
(シリーズ本のチカラ)



那 須 正 幹 作  
タカタ カヲリ 絵

日本標準 197P 2011年

原爆で亡くなった妻の霊が、戦地から帰る夫を待つ「やけあと」をはじめ、ささやかな願いさえ叶えられない社会状況を背景に描かれた、5つの物語。1991年刊行の『世にもふしぎな物語』の一部を書き換えた、改題新装版。原作は江戸時代の怪談集『雨月物語』。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

913 な 〈広〉

ヒロシマ

—第1部 歩きだした日—

—第2部 様々な予感—

—第3部 めぐりくる夏—



那 須 正 幹 作

長谷川 知 子 装画

ポプラ社 第1部305P

第2部365P

第3部337P 2011年

昭和26年末、原爆で夫を亡くした靖子は、広島町の町でお好み焼の店を始めた。娘・孫へと店は続いていくが、靖子には大きな秘密があり……。原爆に人生を変えられた人々の姿を約50年にわたって描いた3部作。故郷を舞台に、作者の人生と呼応した時代を綴った物語。

913 やー8 〈広〉

ポケネコにゃんころりん 8

—影だけのねこの秘密—



山 本 悦 子 作

沢 音 千 尋 画

童心社 172P

2012年

夏の広島を訪れたユウたち3人は、平和公園で、実体のない影だけのねこに出会う。そのねこは、原爆投下の日になくなった飼い主をずっと探していて——。ねこを助けたいと、8月6日の出来事を調べるうちに、平和への願いを強くする子どもたちの姿を描く。

913 れ 〈広〉 〈長〉

パンプキン!

—模擬原爆の夏—



令 文 ヒロ子 作

宮 尾 和 孝 絵

講談社 95P

2011年

戦争中、原爆投下の練習のために日本各地に落とされた「模擬原爆（パンプキン爆弾）」。自分の家の近くにも投下されていたことを知ったヒロカは、この爆弾のことを調べはじめる。原爆や戦争について考える少女の姿を通して、模擬原爆投下の事実を伝える物語。

### 3. ノンフィクション

(14 点)

210 いー3 〈広〉〈長〉  
シリーズ戦争遺跡 3  
一町が消えたー全国の空襲・原爆遺跡ー

辻 隆 広 編

汐文社 59P 2010年



写真と共に戦争遺跡を紹介するシリーズ第3巻。空襲・原爆遺跡を取り上げる。広島と長崎に投下された原子爆弾の爪跡のほか、模擬原爆パンプキンの解説などもある。巻末には本文に登場する戦争遺跡の地図や日本の戦争史年表、索引を掲載。調べ学習にも使える。

281 さ 〈広〉  
シゲコ!  
ーヒロシマから海をわたってー

菅 聖 子 著

偕成社 171P 2010年



1955年5月、広島で被爆した25人の女性が、原爆によるやけどの傷を治療するためアメリカに渡った。その一人・笹森恵子さんは、今もアメリカで暮らしている。被爆時の様子や手術までの道のり、その後の人生などを、本人へのインタビューによりまとめた一冊。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

310 あ 〈広〉〈長〉  
13歳からの平和教室



浅井基文 著

かもがわ出版 154P 2010年

“人間の尊厳”や“国際協力”など、毎月テーマを決め、祖父と孫たちの対話形式で綴る。7月は「“核兵器”について考えてみよう」というテーマで、被爆者の訴えや核兵器廃絶への動きを、わかりやすく解説。さまざまな角度から平和について考えさせる一冊。

310 あ 〈広〉  
I NORIーいのりー



綾野まさる 著

ハート出版 181P 2010年

原爆投下から10年後の広島で、小学6年生の禎子は原爆症を発症する。悪化する病状と闘いながら、回復を信じて千羽鶴を折り続けたが……。 「原爆の子の像」のモデルで、平和の大切さを訴える象徴として知られる佐々木禎子さんの話。実兄が監修。

310 た 〈広〉〈長〉  
ヒロシマ、ナガサキ、フクシマ  
ー原子力を受け入れた日本ー  
(ちくまプリマー新書 165)



田口ランディ 著

筑摩書房 175P 2011年

茨城県東海村の臨界事故をきっかけに、核エネルギーと向き合い取材を続けてきた著者が、歴史を遡り原爆、原子力、原発の関係を紐解く。なぜ日本は原発大国となったのか？ 未来の安全はどうすれば得られるのか？ 今考えておくべき「核」の問題を理解するための一冊。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

310 ま 〈広〉  
翼のヒロシマ

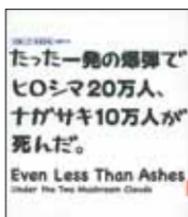


町田樹生文・絵

飛鳥出版室 (制作) 36P 2011年

夏休み、おばあさんから原爆や戦争の話聞いた翼少年は、戦争の恐ろしさ、平和の尊さをもっと深く知るため、一人で広島に行くことにする。一人ひとりが、過去をきちんと知り、考え続けていくことの大切さを、色鮮やかな絵と共に伝える。

310 ろ 〈広〉〈長〉  
たった一発の爆弾でヒロシマ20万人、  
ナガサキ10万人が死んだ。  
一原爆入門・写真詩集一



労働教育センター編集部 編

労働教育センター 76P 2011年

原爆を体験した子どもたちが書いた詩のほか、原民喜「水ヲ下サイ」、栗原貞子「生まれめんかな」などの詩を収録。広島、長崎への原爆投下による被害を撮影した写真とともに掲載している。2004年発行のものに、英訳を加えた2版。

369 と 〈広〉〈長〉  
キノコ雲に追われて  
一 二重被爆者9人の証言一



ロバート・トランブル 著  
吉井知代子 訳

あすなる書房 167P 2010年

広島で原爆に遭い、その後逃げ戻った長崎で再び被爆した「二重被爆者」。彼らの苦悩と絶望、復興への模索を、詳細な体験談で綴る。終戦から10年後につらい事実を語ってくれた彼らの思いを、アメリカ人ジャーナリストが渾身の取材でまとめた証言集。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

370 さ〈広〉

ヒロシマ希望の未来

—核兵器のない世界のために—

澤野重男 著

平和文化

159 P

2010年



「広島高校生平和ゼミナール」など、高校生や若者たちが自主的に取り組む平和運動を紹介。核問題をめぐる世界の現状・被爆の実相・核廃絶への動き等も、様々な証言や手記とともに提示する。「できることから始める」ための、平和学習の手引きとなる一冊。

540 こ〈広〉〈長〉

子どもたちに伝えたい——

原発が許されない理由

小出裕章 著

東邦出版

129 P

2011年



反原発を掲げる著者が、原子力発電の構造や危険性、放射能による健康被害などを図やグラフを交えて解説。原子力発電によって、広島に投下された原爆の110万発分以上の放射性物質が生み出されたと述べるほか、原爆の爆発力や原料についての説明もある。

720 く〈広〉

平和をねがう「原爆の図」

—丸木位里・俊夫妻—

楠木しげお 作

くまがい まちこ 絵

銀の鈴社

218 P

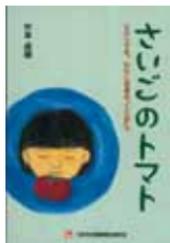
2012年



被爆直後の広島で、その惨状を見た丸木夫妻は、反戦平和を強く願い、「原爆の図」全15部を、30年余りかけて完成させていく。原爆のみならず、戦争や公害など、多くの社会の不合理に激しく抵抗し、「絵による平和運動家」として生き抜いた夫妻の活動を描く。

子どもたちへ原爆を語りつぐ本

916 た 〈広〉  
さいごのトマト  
—ヒロシマを、わたし自身の「ことば」で—



竹本成徳 著

日本生活協同組合連合会 79P 2010年

爆心地から1キロの地点で被爆し、きこの雲の下、暗闇となった町を逃げ惑った著者。勤務先で被爆した姉は全身大やけどを負い、翌日息絶えた。当時中学2年生だった著者が、自身の言葉でありのままに被爆体験を語り、戦争を繰り返してはならないと訴える。

916 は 〈広〉  
少女・十四歳の原爆体験記  
—ヒロシマからフクシマへ—



橋爪文 著

高文研 234P 2011年

当時14歳だった著者の、広島での壮絶な被爆体験とその後の記録。自分や家族、身近な人の長年にわたる苦しみを、一つひとつ具体的に綴る。巻末には著者の被爆後の健康状態も付記されている。2001年版に、「私のその後」の章と福島原発事故への想いを加えた新版。

916 や 〈広〉  
海をわたる被爆ピアノ  
(世の中への扉)



矢川光則 著

講談社 143P 2010年

広島で調律師をしている著者は、あるピアノに出会い、人生が変わった。原爆で傷ついた「被爆ピアノ」の修理・演奏を続け、その活動を通じて、多くの人びとに原爆の悲惨さや平和の大切さを伝えている。著者の前向きで、情熱あふれる生き方を描く。

## さ く い ん

### ア

あいうえおみせ	1
愛の一家	55
青い空	68
赤い髪のみう	36
あかいぼうしのゆうびんやさん	2
赤ちゃんおばけベロンカ	21
あかちゃんがやってくる	2
あさがお	56
あしたは晴れた空の下で	37
あなた	12
アニーのかさ	49
あの夏、ぼくらは秘密基地で	38
雨あがりのメデジン	33
あやかし草子	73
アンネの木	34

### イ

イエローカードはぼくらの旗印	65
いっしょならもっというい	2
糸に染まる季節	64
I N O R I	76
印刷職人は、なぜ訴えられたのか	58

### ウ

ウィッシュ	39
うずらのうーちゃんの話	23
海をわたった折り鶴	68
海をわたったヒロシマの人形	69
海をわたる被爆ピアノ	79

### エ

エイモスさんがかぜをひくと	12
---------------	----

### オ

おうさまジャックとドラゴン	3
王さまライオンのケーキ	13

おおきいちいさい	3
おおきなけやき	13
おかえりなさいはやぶさ	63
おかのうえのギリス	13
丘はうたう	31
おじいちゃんが、わすれても	35
おじいちゃんの手	14
おとうさんおかえり	3
おとうさんの手	19
おとまり、おことわり?	4
おもしろ荘の子どもたち	33
折り紙でたくさんの笑顔を	66
おりづるにのって	69
オリバー、世界を変える!	32
おんなじ、おんなじ!	
でも、ちょっとちがう!	4

### カ

カイウスはばかだ	42
怪物はささやく	52
風海峡 上・下	46
片腕のキャッチ	40
彼女のためにぼくができること	49
ガラガラヘビの味	47
願かけネコの日	37
カンガルーには、 なぜふくろがあるのか	23

### キ

キジのかあさん	14
きつねうどん	27
きのこ	61
キノコ雲に追われて	77
きみに出会うとき	41
きみの町にコウノトリがやってくる	62
きみ、ひとりじゃない	48
婦命寺横丁の夏	36
教会ねずみとのんきなねこ	14
京劇がきえた日	24
きんいろのさかな・たち	35

## ク

空城の計	34
くさはらどん	4
クロがいた夏	69
クロティの秘密の日記	53
黒ネコジェニーのおはなし 1～3	30

## ケ

「けんぼう」のおはなし	59
-------------	----

## コ

コウモリのルーファスくん	5
氷の海を追ってきたクロ	65
こけこっこー	5
ここがぼくのいるところ	5
古代エジプトのものがたり	51
子どもたちに伝えたい——原発が 許されない理由	78
子どもに語るアラビアンナイト	29
子どものためのコルチャック先生	57
このよでいちばんはやいのは	15
この空の下で	73
ゴールデン・バスケットホテル	31
こんにはちといてごらん	20

## サ

さあ、とんでごらん!	6
さいごのトマト	79
桜守のはなし	64
サリーの帰る家	48

## シ

幸せの器	45
シカゴよりとんでもない町	53
シゲコ!	75
しげちゃん	15
しめかざり	60

ジャミーラの青いスカーフ	40
11をさがして	40
11号室のひみつ	30
13歳からの平和教室	76
1/12の冒険	42
小公女	41
少女・十四歳の原爆体験記	79
昭和二十年八さいの日記	70
シリーズ戦争遺跡 3	75
シルム	15
震災が教えてくれたこと	59

## ス

ステイーヴィーのこいぬ	16
-------------	----

## セ

セキタン!	46
戦火の馬	54
戦争を取材する	59
千年の森をこえて	38

## ソ

空の絵本	24
------	----

## タ

だいすきだよ、 オルヤンおじいちゃん	22
大草原のちいさなおオカミ	38
ダーウィンと出会った夏	50
たった一発の爆弾でヒロシマ20万人、 ナガサキ10万人が死んだ。……77 たまごのなかにいるのはだあれ? ……6	77

## チ

小さな可能性	43
ちいさなたいこ	6
チキチキパンパン 1～3	31

## さ く い ん

ちっこばあばの泣いた夜……………	28
チョコレートと青い空……………	28
珍獣病院……………	64

## ツ

翼のヒロシマ……………	77
つぼつくりのデイヴ……………	24

## テ

鉄道きょうだい……………	52
鉄のしぶきがはねる……………	46
鉄は魔法つかい……………	60
てるちゃんのかお……………	16
<天才フレディ>と幽霊の旅……………	41

## ト

父さんの手紙はぜんぶおぼえた……………	47
どうしてアフリカ？	
どうして図書館？……………	58
どうしてダブってみえちゃうの？……………	16
どこからも彼方にある国……………	55
図書室からはじまる愛……………	47
トミーは大いそぎ……………	20
土曜日はお楽しみ……………	39
トラのじゅうたんに	
なりたかったトラ……………	7
とりになった	
きょうりゅうのはなし……………	7
どんどこどん……………	7

## ナ

ながいながいよる……………	17
中をそうぞうしてみよ……………	8
なんでももってる(?)男の子……………	21

## ニ

日本の鳥の巣図鑑全 259……………	62
--------------------	----

## ネ

ネズミさんとモグラくんの	
楽しいおうち……………	20
ねずみのへやもありません……………	25
ねむれないふくろうオルガ……………	17

## ハ

灰色の地平線のかなたに……………	51
墓場の少年……………	50
走れ！マスマラ……………	43
ハスの花の精リアン……………	25
はたらく地雷探知犬……………	65
8月6日のこと……………	70
ハティのはてしない空……………	54
パパのメールはラブレター！？……………	39
パパはバードマン……………	30
春を待つ里山……………	63
はるがきた……………	8
はるかなるアフガニスタン……………	50
パンピキン！……………	74
万里の長城……………	56

## ヒ

ピカッ！ドン！！は	
もうやめて！！……………	70
びっくりまつぼっくり……………	8
ピーティ……………	53
ビートのスケートレース……………	25
ヒトラー・ユージェントの若者たち……………	60
火の話……………	71
非武装地帯に春がくると……………	26
100km！……………	45
びゅ～んびょ～ん……………	9
ヒロシマ 1～3……………	74
ヒロシマ希望の未来……………	78
ヒロシマ、ナガサキ、フクシマ……………	76

## フ

- フォスターさんの郵便配達……………44  
ふねがきた! …………… 9

## へ

- へいわってどんなこと? ……………17  
平和を願う「原爆の図」……………78  
へヴンリープレイス……………37  
ペットショップはほくにおまかせ……………32  
ペテフレット荘のブルック 上・下……………33  
ベンジーのもうふ…………… 9  
へんたこさんせんちょうになる……………18

## ホ

- ほくたちとワッフルハート……………43  
ボグ・チャイルド……………52  
ほくとおじちゃんとハルの森……………29  
ほくは昆虫カメラマン……………61  
ほくらのムササビ大作戦……………29  
ポケネコ・にゃんころりん 8 ……………74  
ほこりまみれの兄弟 ……………51  
星空に魅せられた男 間重富……………57  
盆まねき ……………28

## マ

- まいごのまめのつる……………10  
MY HIROSHIMA……………71  
MY HIROSHIMA……………71  
マグナス・マクシマス、  
なんでもはかります……………26  
マルカの長い旅……………55

## ミ

- 見つけるぞ、動物の体の秘密……………61  
南の島……………58  
ミンティたちの森のかくれ家……………42  
みんなが知りたい放射線の話……………63

## ム

- 昔むかしの物語……………44  
むこうがわ行きの切符……………36  
むこうがわのあのこ……………18

## メ

- めっけもののサイ……………18

## モ

- もういちど家族になる日まで……………54  
もりのたいしょうははりねずみ……………22  
もりのてぶくろ……………10  
森のみずなら……………26

## ヤ

- やくそくのどんぐり……………72  
闇のダイヤモンド……………48

## ヨ

- ようちえんいやや……………10  
よるのえほん……………11

## ラ

- ライオンとねずみ……………19

## リ

- 「リベンジする」とあいつは言った ……35  
リンゴの老木とフクロウ……………62

## レ

- レンタルロボット……………27

## ロ

- ロス、きみを送る旅……………49  
ろばのとしょかん……………19

## ワ

- わがはいは中村春吉である。……………57  
忘れないよトル・ジョッシュユ……………32  
わたし、くわがた……………11  
わたしのおかあさんは世界一びじん…21  
わたしのひかり……………27

# 原爆関係児童図書リスト

(★は絵本・☆は紙芝居)

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
◎フィクション (物語、童話、絵本、紙芝居)			
青い空	柳生 研太郎 作・画	風 詠 社	2011 ★
アオギリのねがい	『被爆アオギリ二世』 の絵本をつくる会 作・画	広島平和教育研究所	1996 ★
アオギリのねがい (新版)	『被爆アオギリ二世』 の絵本をつくる会 作・画	広島平和教育研究所	2003 ★
アオギリよ芽をだせ	大川 悦 生	新日本出版社	1992
赤い風よふけ	沢井 充 子	汐 文 社	1986
赤い靴はいた	あおき てつお まんが 「シリーズ戦争」編集委員会 編	草 土 文 化	1991
赤毛のポチ	山 中 恒	理 論 社	1969
アサガオ	むらはし こまち 文・絵	ら く だ 出 版	1982 ★
朝の別れを	大野 允 子	ポ プ ラ 社	2001
明日が来なかった子どもたち	鶴 文 乃	サンパウロ	2000
あしたの風 (ポプラ社文庫)	壺 井 栄	ポ プ ラ 社	1978
あしたへげんまん	竹 田 まゆみ	新日本出版社	1971
あした、またね!	大野 允 子	ポ プ ラ 社	1991
あなたへ	大野 允 子	あすなる書房	1985
あの海の波間に	北川 幸比古 ほか 編	岩 崎 書 店	1989
あの子らの碑	坂 口 便	あ ら き 書 店	1982
あの戦争のなかにぼくもいた	石 浜 みかる	国 土 社	1992
あの夏の日	業 祥明 絵・文 長崎市 編集協力・英訳	自 由 国 民 社	2000 ★
あやかし草子	那 須 正 幹	日 本 標 準	2011
あやと青い目の人形	松 永 照 正	クリエイティブ21	2003
あるハンノキの話	今 西 祐 行	実業之日本社	1966
あるハンノキの話 (偕成社文庫)	今 西 祐 行	偕 成 社	1976
ある日突然に	中 沢 啓 治	汐 文 社	1987

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
石のひとりごと ほか3篇	大石千枝子 ほか	あらしき書店	1981
いつか見た青い空 上・下	中沢啓治	汐文社	1986
いないいない、いない	大野允子	国土社	1987
犬之介さんと小犬	藤本正文	近代文芸社	1995
いま、戦争と平和を考えてみる。	峠三吉 ほか	くもん出版	2009
今西祐行全集6	今西祐行	偕成社	1988
いわたくんちのおばあちゃん	天野夏美 作 はまのゆか 絵	主婦の友社	2006★
うそつき咲っぺ	長崎源之助	佼成出版社	1995
歌のとどく日	広島児童文学研究会 編	新日本出版社	1970
歌よ川をわたれ	沖井千代子	講談社	1980
海をわたった折り鶴	石倉欣二 作 指田和子 文 牧野鈴子 絵	小峰書店	2010★
海をわたったヒロシマの人形	大野允子	文研出版	2011★
海に立つにじ	大野允子	講談社	1965
海のむこうに	大西伝一郎	汐文社	1985
海辺の砂をにぎりしめて	藤田博保	大日本図書	1988
おかあさんの木	大川悦生	ポプラ社	1969
お菓子放浪記	西村滋	理論社	1976
おこりじぞう ー絵本ー	山沼四郎 作 口田勇子 原 四国五郎 作 一郎 絵	金の星社	1979★
おこりじぞう	山口勇子	新日本出版社	1982
おじいちゃんの銀時計	はらみちをさく・え	らくだ出版	1995★
おじいちゃんは兵隊だった	竹野栄	旺文社	1994
弟を地に埋めて	ロバート・スウィンデルズ 訳 斉藤健一 著	福武書店	1988
音が消えた時	森本マリア 著 小泉直子/ジム・ロナルド 英訳	吉備人出版	1999★
おばあさんのとっくり	砂田弘	岩崎書店	1977

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
おばあさんのとっくり (フォア文庫)	砂田 弘	岩崎書店	1980
おばあちゃんのももの木	山本 玲子	汐文社	1986
おばけ雲	来栖 良夫	新日本出版社	1969
おもいで箱 - 短編集 -	松永 伍一 ほか	汐文社	1985
おりづるにのって	中村 里美 文絵 吉田 しんこ	ミューズの里	2010 ★
おりづるの旅	うみのしほ 作絵 狩野 富貴子	PHP研究所	2003 ★
おりづるの旅 - 英語版 -	SHIHO UMINO 作絵 KEIKO MIYAMOTO・STEVE LEEPER 作絵 FUKIKO KARINO	PHP研究所	2003 ★
おりづるの旅 - ダリ語版 -	うみのしほ 作絵 狩野 富貴子	PHP研究所	2003 ★
おりづるの旅 - ネパール語版 -	うみのしほ 作絵 狩野 富貴子	PHP研究所	2003 ★
おれたちにできなかったこと	大原 興三郎	PHP研究所	1996
かあさんのうた (おはなし名作絵本)	大野 允子 文絵 山中 冬児	ポプラ社	1977 ★
かあさんのうた (ポプラ社文庫)	大野 允子	ポプラ社	1981
かあさんの野菊	山口 勇子	新日本出版社	1974
貝の鈴	山口 勇子	大日本図書	1970
かえってきたつりがね	児玉 辰春 作絵 長澤 靖	鈴木出版	1996 ★
傘の舞った日	日本児童文学者協会 編	新日本出版社	2007
化石原人の告白	猪野 省三	学習研究社	1969
風のみた街	竹田 まゆみ	ポプラ社	1985
風のむらから さわこ	マオ アキラ	汐文社	1991
悲しい顔のマリア	原 之夫 作・絵	汐文社	1991 ★
かべにきえる少年	手島 悠介	講談社	1976
かべにきえる少年 (青い鳥文庫)	手島 悠介	講談社	1981
カモメの家	山下 明生	理論社	1991
かよこ桜	山本 典人	新日本出版社	1981

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
ガラスびんの夏	竹田 まゆみ	汐文社	1985
川とノリオ	いぬい とみこ	理論社	1982
川とノリオ (フォア文庫)	いぬい とみこ	理論社	1982
消えた夏休み	富家知道・富家美代子 大羽睦代	ウインかもがわ	2005
消えていく詩	大野 允子	ポプラ社	1976
北風は芽を	日本児童文学者協会 編	童心社	1970
北国の子どもたち	赤木 由子	講談社	1982
北の天使 南の天使	吉本 直志郎	ポプラ社	1982
北の天使 南の天使 (ポプラ社文庫)	吉本 直志郎	ポプラ社	1985
木は生きかえった	大川 悦生	新日本出版社	1986
霧に消えた少女	わたり むつこ	国土社	1985
くちなしの花八月	児玉 辰春	草土文化	2001
雲のむこうに	毛利 まさみち 作・絵	汐文社	1996★
くらがり峠	今西 祐行	偕成社	1981
クレヨン王国月のたまご	福永 令三	講談社	1998
クレヨン王国月のたまご 1 (青い鳥文庫)	福永 令三	講談社	1986
クロがいた夏-絵本-	中沢 啓治 作・絵	汐文社	1990★
クロがいた夏-絵本-	中沢 啓治 著	DINO BOX	2011★
ケイコちゃんごめんね	奥田 貞子 作 奥宮 本忠 夫 絵	ポプラ社	1983★
げんさん	大野 允子	あすなろ書房	1986
原子雲を見た子どもたち	坂口 便	あらしき書店	1980
原子野の汽笛	坂口 便	あらしき書店	1986
原子爆弾『でぶっちょ』	坂口 便	あらしき書店	1988
げんばくとハマユウの花	桜井 信夫 文 鈴木 義治 絵	ほるぶ出版	1981★

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
原爆の子さだ子の願い	宮崎 二美枝 脚本 江口 準 次子 本 岩崎 京子 文 毛利 まさみち 絵 上野 まさか 文 藤野 さか 文 藤 わかな 絵	汐文社	1994 ☆
原爆の火		新日本出版社	2000 ★
ここに居ることおかあさんにらせて 心がホッとする話1年生下・2年生下・4年生下		B O C 出版部	2005 ★
心でさげんでください	おおえ ひ で	学習研究社	1999
こすもすべーカリー物語	日本児童文学者協会 編	小学館	1983
ことりになったエノキ	白木 恵委子	新日本出版社	2008
五十年めの手紙	長崎 源之助	新日本出版社	2002
この空の下で	井上 雅博	ポプラ社	1996
ごめんねぼっこ	山下 夕美子	朝日学生新聞社	2011
サダコ	カール・ブルックナー 著 片岡 啓治 訳	あかね書房	1969
さだ子と千羽づる	SHANTI 作	よも出版	2000
サダコの祈り	フォージア・ミナラ 著 うねざき まさこ 訳	オーロラ自由アトリエ	1994
サダコの祈り -ダリ語版-	Fauzia Aziz Minallah 絵・文	アント・ヒロシマ	2008 ★
さようならかげぼうし	木村 英代	Fauzia Aziz Minallah	2007 ★
さよならをいう時間もない	ジュディ=ブルーム 作 長田 敏子 訳	汐文社	1985
三年三組なきむしメソコ先生	山下 夕美子	偕成社	1991
十五年めのおくりもの	柴山 一郎	ポプラ社	1985
十四才の夏	大谷 美和子	金の星社	1997
ジュノー -絵本版-	津谷 静子 文 enjin productions・UNION CHO 絵	汐文社	1990
昭ちゃんの紙芝居	山口 昭治 作	ありがとう出版(発行)	2008 ★
昭和二十年八さいの日記	佐木 隆三 文 黒田 征太郎 絵	木戸出版	2005 ★
白いチマチョゴリ	徳永 和子	石風社	2011 ★
白い鳥とねむの木の町	大野 允子	教育画劇	1991
		小峰書店	1990

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
白い町ヒロシマ	木村靖子	金の星社	1983
白い町ヒロシマ (フォア文庫)	木村靖子	金の星社	1985
白い町ヒロシマ-英語版-	YASUKO KIMURA 作 NOBUKO UENO ほか 訳	文化評論出版	1985
白い物語	中島信子	汐文社	1985
伸ちゃんのさんりんしゃ	児玉辰春 作 おほまこと 絵	童心社	1992★
伸ちゃんのさんりんしゃ-英語版-	CHART INSTITUTE 編著	数研出版	1994
スカーフは青だ	山口勇子	新日本出版社	1969
世界でいちばん悲しいクラス	坂口便	あらき書店	1981
1983年熱い秋のノート	中澤晶子	汐文社	1985
「戦争と平和」子ども文学館 16	長崎源之助ほか 編	日本図書センター	1995
「戦争と平和」子ども文学館 17	長崎源之助ほか 編	日本図書センター	1995
「戦争と平和」子ども文学館 18	長崎源之助ほか 編	日本図書センター	1995
千羽づるのねがい	山下夕美子	小学館	1975
太陽の落ちた日	来栖良雄ほか 編	労働教育センター	1980
助けてあげられなくてごめんね	広島市立段原小学校 平和教育推進委員会 編	広島市立段原小学校	2003★
脱走者たち	片山昌造	理論社	1973
小さな赤いてぶくろ	西野綾子 文 渡辺俊明 絵	ひくまの出版	1983★
チコとじぞうさん	大野允子	国土社	1977
地図にない島へ	武田英子	農文協	1990
ちちんぷいぷいとんでいけ	小野和子	汐文社	1985
因(チナミ)の木と少女たちの40年	菊地澄子	汐文社	1986
チビ兵行進曲	熊谷本郷	汐文社	1989
ちゃんちゃこばあちゃん	正田篠枝	太平出版社	1980
チュイホアねえさん	日中児童文学美術 交流センター 編	フレール館	1994

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
チョウのいる丘	那須田 稔	講談社	1968
チョウのいる丘 (青い鳥文庫)	那須田 稔	講談社	1972
土の中の顔	坂口 便	あらき書店	1982
つる	エリナー・コア こだまともこ エド・ヤング	文訳 絵 日本図書センター	2005 ★
つるにのって -アニメ版-	ミホ・シボ 原案	金の星社	1994
つるのとぶ日	大野 允子 ほか編	東都書房	1963
つるのとぶ日	大野 允子 ほか	講談社	1977
つるのとぶ日 (青い鳥文庫)	大野 允子 ほか	講談社	1980
テニ안의少女	石上 正夫	汐文社	1985
転校生とぼくの秘密	野矢 一郎	小峰書店	1986
十日間のお客	関 英雄 ほか 編	小峰書店	1970
灯ろう	原 のぶこ	汐文社	1992
とうろうながし	松谷 みよ子 丸木 俊	文 絵 偕成社	1985 ★
遠い国からきた小さな友だち	こにし ひでこ	新風舎	2007
時の石	那須 正幹	文溪堂	1994
跳ぶんだったら、いま!	吉本 直志郎	ポプラ社	1979
とべ、ぼくの鳩よ	下嶋 哲朗	金の星社	1984
友よ・夏の花・原爆詩	林 京子 ほか	金の星社	1985
長崎にいた小人のフ란ツ	大川 悦生	国土社	1988
ナガサキの男の子	森下 真理	太平出版社	1985
ナガサキのおばあちゃん	高橋 克雄	「ナガサキのおばあちゃん」 出版支援会	2006
ながさきの子うま	大川 悦生	新日本出版社	1984
ナガサキの花	畑 島 喜久生	らくだ出版	1989
長崎のふしぎな女の子	大川 悦生 宮崎 耕平	文 絵 ポプラ社	1983 ★

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
長崎のふしぎな女の子 (ポプラ社文庫)	大川悦生	ポプラ社	1985
なぐさめの天使	坂口便	あらき書店	1981
夏の記憶	丘修三	汐文社	1992
夏の花	成城国文学会 編	ポプラ社	1984
夏の花たち	鈴木ゆき江	ひくまの出版	2004
虹	早船ちよ	汐文社	1985
虹をみた日	大野允子	ポプラ社	1995
二度と	松井エイコ 脚本・絵	童心社	2005 ☆
二年2組はヒヨコのクラス	山下夕美子	理論社	1983
人形がかぞえる子もりうた	白根厚子	草炎社	1996
人形マリー	山口勇子	新日本出版社	1980
人形レストラン	怪談レストラン編集委員会(編)	童心社	2004
ねこになった少年	征矢清	岩波書店	1988
ねこになった少年 (岩波少年文庫)	征矢清	岩波書店	1996
野の花は生きる	いぬい とみこ	童心社	1972
バオバブのゲンバク	木村功 ほか	汐文社	1986
ハコちゃん・あるハンノキの話ほか	今西祐行	実業之日本社	1981
走れひばく電車	まさきかずみ 文絵 しげとう さちよ	ひろしま女性学研究所	2008 ★
はだしのゲン (コミックス版) 1~10	中沢啓治	汐文社	1975~87
はだしのゲン-絵本-	中沢啓治 作・絵	汐文社	1980 ★
はだしのゲン (児童文学版) 上・中・下	中沢啓治 原作 深沢一夫 作	汐文社	1980~81
はだしのゲン-紙芝居-1~5	中沢啓治 作・絵	汐文社	1991 ☆
はだしのゲン (中公愛蔵版) 1~3	中沢啓治	中央公論社	1996
はだしのゲン-テレビドラマ版-	中沢啓治 原作	汐文社	2007

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
はだしのゲン自伝	中 沢 啓 治	教育資料出版会	1994
八月がくるたびに (どうわの本棚)	おおえ ひ で	理 論 社	1971
八月がくるたびに (理論社名作の愛蔵版)	おおえ ひ で	理 論 社	1978
八月がくるたびに (フォア文庫)	おおえ ひ で	理 論 社	1982
八月がくるたびに -新・名作の愛蔵版-	おおえ ひ で	理 論 社	2001
八月の少女たち	大 野 允 子	新日本出版社	1985
八月のすきまに	辛 島 萌	新日本出版社	2005
8月6日のこと	中 川 ひろたか 文 長谷川 義 史 絵	ハモニカブックス	2011 ★
はとよひろしまの空を	大 川 悦 生	ポ プ ラ 社	1979
はとよひろしまの空を -アニメ版-	大 川 悦 生 原作 大川弘子 / 大川富美文	ポ プ ラ 社	1999 ★
母の川	大 野 允 子	小 学 館	1978
浜ひるがおの花が咲く	おおえ ひ で	汐 文 社	1985
遥かなトナカイの国	清 水 道 尾	岩 崎 書 店	1991
パンプキン!	令 丈 ヒロ子	講 談 社	2011
ピカ	西 本 伸 絵と文	あ ゆ み 出 版	1984 ★
ピカッ子ちゃん	正 田 篠 枝	太 平 出 版 社	1977
ピカッ! ドン!! はもうやめて!!!	久 野 登久子 文 佐 藤 八重子 絵	フ レ ー ベ ル 館	2010 ★
ピカドン	小 崎 侃 作・版画	汐 文 社	1991 ★
ピカドン	木 下 蓮 三 木 下 小夜子	ダ イ ナ ミ ッ ク ク セ ラ ー ズ	1979
ピカドン (新装改訂版)	木 下 蓮 三 木 下 小夜子	ダ イ ナ ミ ッ ク ク セ ラ ー ズ 出 版	2009
ピカドン (復刻新版)	木 丸 位 里 著 丸 木 俊 著	小 峰 書 店	1987 ★
ピカドンたけやぶ	は ら みちを 作・絵	岩 崎 書 店	1983 ★
光の消えた日	いぬい とみこ	岩 波 書 店	1978
光る夏 -たつひこ	マ オ アキラ	童 心 社	1993

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
彼岸花はきつねのかんざし	朽木 祥	学習研究社	2008
ひーちゃんはいった	大野 允子	ポプラ社	1977
ひーちゃんはいった(ポプラ社文庫)	大野 允子	ポプラ社	1984
一つの花 (ポプラ社文庫)	今西 祐行	ポプラ社	1983
ひとりひとりの戦争	菊地 澄子	理論社	1975
火の話	黒田 征太郎 作	石風社	2011★
100ばんめのサル	ケン・キース・ジュニア 原作	国土社	1987★
ピラミッド帽子よ、さようなら	乙骨 淑子	理論社	1981
ピラミッド帽子よ、さようなら (復刻版)	乙骨 淑子	理論社	2010
ヒロシマ 1～3	那須 正幹	ポプラ社	2011
ヒロシマから帰った兄	マリアン・D・パウアー 久米 穰 作訳	佑学社	1992
ヒロシマからきたマメじぞう	山口 勇子	太平出版社	1983
ヒロシマこどもたちの夏	村上 啓子	溪水社	1995
広島昭和20年8月6日	遊川 和彦	汐文社	2005
ヒロシマとハワイを結ぶ物語	うねぎき まさこ	アント・ヒロシマ	2008
ヒロシマに原爆がおとされたとき	大道 あや 著	ポプラ社	2002★
広島にチンチン電車の鐘が鳴る	きむら けん	汐文社	1999
ヒロシマのいのちの歌	鈴木 ゆき江	ひくまの出版	2001
ヒロシマのいのちの水	指田 和 文 野村 たかあき 絵	文研出版	2009★
ヒロシマのうた	関 英雄 ほか編	小峰書店	1971
ヒロシマのうた	日本児童文学者協会 編	小峰書店	1986
ヒロシマの歌	今西 祐行	岩崎書店	1982
ひろしまのエノキ	長崎 源之助 作 二俣 英五郎 絵	童心社	1988★
ひろしまのおデット	日本児童文学者協会 編	童心社	1972

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
ヒロシマのおとうさん-絵本-	高橋昭博 文 四国五郎 絵	汐文社	1983★
ヒロシマの子守唄	菊地正	汐文社	1985
広島姉妹 (岩崎少年文庫)	山本真理子	岩崎書店	1973
広島姉妹 (フォア文庫)	山本真理子	岩崎書店	1979
広島姉妹-英語訳-	山本真理子 原作 梅田修 編訳	三友社出版社	1984
ヒロシマの少女	大野允子	盛光社	1969
広島の子	山本真理子	岩崎書店	1995
ヒロシマの夏	子どもと文学の会 編	国土社	1990
広島母たち	山本真理子	岩崎書店	1982
広島母たち (フォア文庫)	山本真理子	岩崎書店	1985
ヒロシマの火	山口勇子	新日本出版社	1988
ヒロシマのピアノ	指田和子 文 坪谷令子 絵	文研出版	2007★
ひろしまのピカ	丸木俊え・文	小峰書店	1980★
ヒロシマ、八月、炎の鎮魂歌	大野允子	ポプラ社	1998
ヒロシマへ行って	谷田川和夫 原案 渡辺本泰忠 脚 宇留賀佳代子 絵 稲田善樹	汐文社	1990☆
ピンク色の雲	稲田善樹	てらいんく	2007★
ふたりのイーダ	松谷みよ子	講談社	1969
ふたりのイーダ (青い鳥文庫)	松谷みよ子	講談社	1980
ふたりの英雄	日本児童文学者協会 編	童心社	1971
ふりそでの少女	松添博作・絵	汐文社	1992★
平和のちかい (復刻版)	稲庭桂子 脚 佐藤藤子 画 稲庭桂子 脚 佐藤藤子 脚 町屋住い 脚 N き い	子どもの文化研究所	1979☆
平和のちかい	稲庭桂子 脚 佐藤藤子 脚 町屋住い 脚 N き い	童心社	2005☆
平和への祈り	町屋住い 脚 N き い	大空社	1995☆
ポケネコにゃんころりん 8	山本悦子	童心社	2012

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
星からきたカード	大川悦生	汐文社	1985
MY HIROSHIMA	森本順子 著	HPS国際ボランティア	2010★
MY HIROSHIMA	森本順子 作・絵	HPS国際ボランティア	2011★
まちんと	松谷みよ子 文 司谷修 絵	借成社	1978★
まちんと(改訂版)	松谷みよ子 文 司谷修 絵	借成社	1983★
まっ黒なおべんとう	児玉辰春	新日本出版社	1989
まっ黒なおべんとう-絵本-	児玉辰春 文 長澤靖 絵	新日本出版社	1995★
魔法のぶた	司修	汐文社	1985
まめたんばあさん	大野允子	あすなろ書房	1987
マレーシアの語り人	かつお きんや	汐文社	1985
マンモスの夏	大原興三郎	文溪堂	1995
みえちゃんの集団疎開	原美恵子	原美恵子	1991
みえちゃんの集団疎開	はらみえこ さく 段原中学校美術部 え	段原中学校美術部	1993
見えないトゲ	大野允子	国土社	1970
見えないほうがよかった	坂口 便	あらし書店	1980
ミサコの被爆ピアノ	松谷みよ子	講談社	2007
ミチコとクミ	深沢一夫	汐文社	1986
見てるよ! ヒトミ	槻野けい	汐文社	1985
みどりの川のぎんしょきしょき	いぬい とみこ	福音館書店	1978
南の風の物語	おおえ ひで	理論社	1961
むかえじぞう	吉本直志郎 ぶん 遠藤てるよ え 吉本直志郎 作 飯原直志郎 絵	ポプラ社	1980★
むかえじぞう	和野勝一	佼成出版社	1991★
麦畑のカマキリ	和田勝恵	汐文社	1986
むらさき色のピカ	馬場淑子	太平出版社	1981

〈書 名〉	〈著 者 名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
もうひとつのヒロシマ	仲 里 三津治	講 談 社	2008
もえる吹雪	菊 地 鮮	汐 文 社	1985
野球バカ	中 沢 啓 治	汐 文 社	1986
やくそくのどんぐり	大 松 門 高 子 文 永 禎 郎 絵	新 日 本 出 版 社	2010 ★
焼けあとの白鳥	日本児童文学者協会 編	小 峰 書 店	1986
ヤン一族の最後	三 浦 精 子	汐 文 社	1985
やんばる君	中 野 慶	童 心 社	2000
夕焼けの記憶	大 野 允 子	国 土 社	1973
ユーカリの木の下で	中 沢 啓 治	汐 文 社	1986
ゆみ子とつばめのおほか	今 西 祐 行	借 成 社	1971
ゆりさんの花物語	大 野 允 子	P H P 研 究 所	1989
ようすけ君の夢	上村 吉・真柳 タケ子 語り 佛敎大学社会学部・社会福祉学科 文 絵	佛敎大学社会学部・ 佛敎大学福祉教育開発センター	2006 ★
ようすけ君の夢	田中 愛・越智 裕希美 タケ子 語り 上村 吉・真柳 タケ子 語り 佛敎大学黒岩ゼミ 文 絵 田中 愛・越智 裕希美	クリエイツかもがわ	2008 ★
よっちゃんのビー玉	児 玉 辰 春	新 日 本 出 版 社	1990
よっちゃんのビー玉 -絵本-	児 玉 辰 春 ぶん 北 島 新 平 え	新 日 本 出 版 社	1996 ★
四年一組にきた子	竹 田 まゆみ	ポ プ ラ 社	1983
らくだい先生	広島・子どもと 教師の文学の会 編	ポ プ ラ 社	1982
リトルボーイ	吉 本 直志郎	ポ プ ラ 社	2005
りよおばあさん	おおえ ひ で	実 業 之 日 本 社	1972
るいるいとるいるいと	竹 田 まゆみ	汐 文 社	1987
ルミちゃんの赤いリボン	奥 田 貞 子 文 宮 本 忠 夫 絵	ポ プ ラ 社	1983 ★
ロクの菜の花畑	竹 田 まゆみ	汐 文 社	1996
ロザリオの祈り 1～3	さかい ともみ	教育出版センター	1984
ロザリオの祈り 1・2 -まんが-	青 空 風太郎 漫画 さかい ともみ 原作	教育出版センター	1984・1985

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
わすれていてごめんね	緒方俊平画・文	ガリバープロダクツ	2000
わたしのヒロシマ	森本順子作・文	金の星社	1988★
わたしのヒロシマ-英語版-	JUNKO MORIMOTO 作 ANNE BOWER INGRAM 編 ISAO MORIMOTO 訳 JUNKO MORIMOTO 作	C O L L I N S	1987★
わたしのヒロシマ-英語版-	ANNE BOWER INGRAM 編 ISAO MORIMOTO 訳 岸武雄 詩	ブッキング	2006★
わたしはひろがる	辻本洋太郎 染絵	小峰書店	1994★
わたしはひろがる (改訂版)	岸武雄 作 長谷川知子 絵	子どもの未来社	2010★
わらってお母さん	たからさき 文 たからさやか 絵	クリエイティブ21	2004★
ん子先生お元気で、ねっ	日本子どもの本研究会 編	ほるぶ出版	1993
SADAKO OF HIROSHIMA	MANORAMA JAJA	K h a s K i t a b	1997

### ◎ノンフィクション (随筆、日記、記録、手記、写真集など)

ああ麗しき太田川	広島県立広島工業 高等学校同窓会 編	広島県立広島工業高等学校 創立100周年事業実行委員会	1997
アイオイ橋の人影	オフチニコフ 北畑静子 訳	富山房	1974
青い地球はぼくたちのもの 証	創価学会婦人 平和委員会 編	第三文明社	1986
暁の超特急	広島市立高等女学校・広島市 立舟入高等学校同窓会〔編〕	広島市立高等女学校・ 広島市立舟入高等学校同窓会	2005
悪魔の銀のサイコロ (改題、ヒロシマの雨は ドームの涙 Part III)	国際平和教育研究会 編	今井書店	2001
アジア・太平洋戦争		教育出版センター	1975
あしたきらきら No. 1・2	伊藤真理子 詩 田川(平朝)のためのヒロシマ通訳グループ) 訳	ポプラ社	2006
あの日…	日本原水爆被害者 団体協議会 編	スエックル	1994
あの日から生きて生きて	東京都原爆被害者 団体協議会 編	新日本出版社	1995
あの日のこと	西山進文・絵	汐文社	1986
あの日、広島と長崎で	平和博物館を創る会 編	クリエイティブ21	2005
		平和のアトリエ	1994

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
あの日を、ぼくは忘れない	名柄 堯	勉誠出版	2008
あの日を、わたしは忘れない	河野 きよみ	勉誠出版	2008
アメリカ	槐 一男	岩崎書店	1990
歩いて見てほしいひろしま原爆の木たち	大川悦生	たかの書房	1995
いしづみ	広島テレビ放送 編	ポプラ社	1970
いしづみ (ポプラ社文庫)	広島テレビ放送 編	ポプラ社	1983
いしづみ (改訂新版)	広島テレビ放送 編	ポプラ社	2005
一瞬に消えさった爆心の町	広島平和記念資料館 編	広島平和記念資料館	2001
いのちが未来をもてるように		日本生活協同組合連合会	1986
いのちを学ぼう平和学習実践集 3		汐文社	2002
INORI	綾野 まさる	ハート出版	2010
遺品は語る	深沢 一夫	汐文社	1982
いま戦争を考える No. 2	日本作文の会 編	百合出版	1987
妹たちへの手紙	中山千夏	国土社	1984
海をわたる被爆ピアノ	矢川光則	講談社	2010
絵でよむ日本の歴史 6	鈴木亮彦 編 中妻雅彦	大月書店	1990
NHK日本映像の20世紀 5		ポプラ社	2003
絵で読む広島原爆	那須正幹	福音館書店	1995
絵で読む広島原爆 - 英語版 -	Masamoto Nasu 文 Joana King・Yuki Tanaka 訳	福音館書店	1998
恐ろしい本	長谷川四郎	筑摩書房	1970
おはなし日本地理 11	入江敏夫ほか 編	岩崎書店	1978
オマールさんを訪ねる旅	早川幸生 編	かもがわ出版	1994
想い出のサダコ	大倉記代	よも出版	2005
オヤジがライバルだった	中里喜昭	筑摩書房	1984

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
折り鶴に出会った子どもたち	三省堂 編	三省堂	2003
折り鶴の子どもたち	那須正幹	P H P 研究所	1984
折り鶴の少女	たいらまさお	借成社	1988
折り鶴は世界にはばたいた	うみのしほ	P H P 研究所	1998
かあさん牛の涙	菊地澄子	ポプラ社	1989
かあさんと呼べた	山口勇子 編	草土文化	1964
かあさんと呼べた日	山口勇子	草土文化	1979
ガイドブックヒロシマ	原爆遺跡保存運動懇談会 編	新日本出版社	1996
かえってきた瓢湖の白鳥	神戸淳吉ほか	講談社	1984
加害基地宇品	空辰男	汐文社	1994
核災害からの復興	高田純	医療科学社	2005
学習に役立つものしり事典365日8月		小峰書店	1990
核の時代をどういきるか	伊東壮 編	ポプラ社	1991
核のない21世紀を	片桐直樹 原案 田中館哲彦 構成	汐文社	2001
核はほんとうに安全か	伊東壮	ポプラ社	1990
風のように炎のように 峠三吉	岩崎健二 作・画	峠三吉記念事業委員会	1993
語り伝える空襲 第5巻	安斎育郎	新日本出版社	2008
語り伝えるヒロシマ・ナガサキ 1~5	安斎育郎	新日本出版社	2004
学校演劇で平和を学ぶ	上田精一	草の根出版会	2004
神の子たち	日本児童文学者協会 編 ほか	草土文化	1979
キノコ雲に追われて	ロバート・トランブル 吉井知代子 訳	あすなろ書房	2010
きのこ雲の下で	重高ヨシコ	重高ヨシコ	2005
希望のヒロシマ	平岡敬	岩波書店	1996
君と感動の日々を	上田精一	民衆社	1985

〈書 名〉	〈著 者 名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
きみには関係ないことか	京都家庭文庫地域文庫連絡会 編	京都家庭文庫地域文庫連絡会	1991
きみには関係ないことか -戦争と平和を考えるブックリスト'90~'96-	京都家庭文庫地域文庫連絡会 編	かもがわ出版	1997
きみには関係ないことか -戦争と平和を考えるブックリスト'97~'03-	京都家庭文庫地域文庫連絡会 編	かもがわ出版	2004
九州史跡見学	川添昭二	岩波書店	1989
「夾竹桃物語-わすれていてごめんね」 絵画・読書感想文集		「夾竹桃物語-わすれていてごめんね」 絵画・読書感想文事務局	2002
きょうはなんの日? 7月・8月	布施孝子	ポプラ社	1999
ゲン in ヒロシマ	中沢啓治 原作 木島恭 脚本・詞	講談社	1999
原子爆弾投下	吉田悟郎ほか 編	岩崎書店	1983
原子力のことがわかる本		数研出版	2003
原子力への道を開いた人々	藤本陽一	さ・え・ら書房	1966
原水爆とのたたかい	日高六郎	国土社	1963
原爆瓦	山口勇子	平和文化	1982
原爆写真 ノーマヒロシマ・ナガサキ	黒古一夫・清水博義 編 James Dorsey 訳	日本図書センター	2005
原爆手記掲載図書・雑誌総目録1945-1995	宇吹暁 編著	日外アソシエーツ	1999
原爆ドームの祈り	長谷川敬	講談社	1995
原爆ドーム物語	汐文社編集部 編	汐文社	1990
原爆の絵	NHK広島放送局 編	日本放送出版協会	2003
原爆の絵 -図録-	広島平和記念資料館 編	岩波書店	2007
原爆の絵 HIROSHIMA	童心社 編	童心社	1977
「原爆の絵」と出会う	直野章子	岩波書店	2004
原爆の子 (改版)	長田新 編	岩波書店	1970
原爆の子 (ワイド版岩波文庫) 上・下	長田新 編	岩波書店	2010

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
「原爆の子の像」と「折鶴」(再版)	豊田清史	火幻社	2003
原爆の実相を語りつく被爆者からの伝言	日本原水爆被害者 団体協議会 編	あけび書房	1995
原爆の図	丸木位里 丸木俊	丸木美術館	1983
原爆の図－普及版完本－	丸木位里 丸木俊	小峰書店	2000
原爆の図物語	宇佐美承	小峰書店	1985
原爆の火の長い旅	山口勇子	新日本出版社	1991
原爆は終わっていない	埼玉県立朝霞高等 学校1年2組	埼玉県立朝霞高 等学校1年2組	1990
原爆被爆者は訴える	広島平和文化センター 編	広島平和文 化センター	1988
原爆被爆者は訴える－英語版－	Hiroshima Peace Culture Foundation 編	Hiroshima Peace Culture Foundation	1990
原爆ヒロシマ	寺尾知文	光人社	1982
原爆碑を洗う中学生	小林文男	草の根出版会	2005
原爆文献大事典	文献情報研究会 編著	日本図書センター	2004
原爆一見えない放射線の被害	広島平和記念資料館 編	広島平和記念資料館	2000
原爆モニュメント物語	広島県歴史教育者 協議会	平和文化	1984
原爆予告をきいた	日本児童文学者協会 日本子どもを守る会 編	草土文化	1983
高校生の正しい夏	岩波書店編集部 編	岩波書店	1989
小倉に原爆が落ちた日	朝日新聞社西部本社 社会部 編	あらしき書店	1983
骨壺	日本児童文学者協会 ほか 編	草土文化	1979
子どもたちに伝えたい－原発が許されない理由	小出裕章	東邦出版	2011
子どもたちの見たヒロシマ	文沢隆一 編	汐文社	1982
子どもにおくる戦争があったころの話	鈴木喜代春 ほか 編	らくだ出版	2006
子どもにつたえる世界の戦争と平和1	荒井信一 ほか 編	日本図書センター	1995
子どもにつたえる世界の戦争と平和5	荒井信一 ほか 編	日本図書センター	1995
子ども日本風土記34－広島－	日本作文の会 編	岩崎書店	1980

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
子ども日本風土記 42 -長崎-	日本作文の会	編 岩崎書店	1980
子どものころ戦争があった	あかね書房	編 あかね書房	1974
子どもの作文で綴る戦後50年 1	日本作文の会	編 大月書店	1995
子どもの作文で綴る戦後50年 11	日本作文の会	編 大月書店	1995
こども平和文集 第12号	平和協会・児童部	編 平和協会	1996
ごめんね、お母さん	荒木正夫	ポプラ社	1991
こんな学校があるよ	名取弘文	ポプラ社	1997
最後の手紙	立川昭二	筑摩書房	1990
さいごのトマト	竹本成徳	日本生活協同組合連合会出版部	2010
作文が好きになる事典 3・4年		講談社	1995
サダコ -「原爆の子の像の物語」	NHK 広島「核・平和」プロジェクト	日本放送出版協会	2000
さよなら、先生	織井青吾	ポプラ社	1982
サヨナラはお乳の匂い	荒木正夫	あらし書店	1988
シゲコ!	菅聖子	偕成社	2010
地獄からの汽車 (改題、ヒロシマの雨は ドームの涙 Part II)	国際平和教育研究会	編 教育出版センター	1975
事前に調べる修学旅行パーフェクトガイド 6		金の星社	2003
自分ってなんだろう?	小島昌世	ポプラ社	1995
修学旅行で行ってみたい日本の世界遺産 第5巻	本田純・小松亮一 清野賢司	岩崎書店	2007
15歳のナガサキ原爆	渡辺浩	岩波書店	2002
13歳からの平和教室	浅井基文	かもがわ出版	2010
集団疎開生活と原爆被災	正規寺疎開児童の会	編 正規寺疎開児童の会	2003
14歳の生涯	中本昭ほか	汐文社	1986
少女・十四歳の原爆体験記	橋爪文	高文研	2001

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
少女・十四歳の原爆体験記(新版)	橋爪文	高文研	2011
昭和の歴史 中		くもん出版	1989
調べ学習日本の歴史 8		ポプラ社	2000
調べ学習に役立つ宇宙から見た日本の地理と産業 5		あかね書房	1998
しらべ学習に役立つ日本の歴史 12	古川清行	小峰書店	1995
シリーズ憲法 9条 第1巻	歴史教育者協議会 編	汐文社	2006
シリーズ国連 2 平和へのとりくみ	半田博二 蔵元幸二	リブリオ出版	1993
シリーズ戦争遺跡 3	辻隆広 編	汐文社	2010
新図解わたしたちの日本地理 -中国・四国地方-		学習研究社	1997
新聞で調べよう現代日本の50年1~3	現代日本の50年 編集委員会 編	大日本図書	1995
世界遺産原爆ドーム	広島市市民局 平和行政推進室 編	広島市市民局	1997
世界じゅうに、愛の手を	望月正子ほか	講談社	1984
世界と出会う日本の歴史 5	歴史教育者協議会 編	ほるぶ出版	1999
世界の「戦争と平和」博物館 第6巻	草の根出版会 編	日本図書センター	1997
せこへい	世界の子どもの平和像 を広島につくる会 編	部落問題研究所	2002
1941年12月8日	江口圭一	岩波書店	1991
1945年8月6日	伊東壮	岩波書店	1979
1945年8月15日	和歌森太郎ほか 編	岩崎書店	1995
戦後50年学童疎開の子どもたち 第3巻	嘉藤長二郎ほか 編	汐文社	1995
せんそう	日本作文の会 編	岩崎書店	1991
戦争がやってくる	藤井治夫	筑摩書房	1991
せんそうってなんだったの? 第7巻		学習研究社	2007
戦争と郷土の歴史を考える		福武書店	1992

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
「戦争と平和」子ども文学館 別巻	長崎源之助ほか編 長谷川潮	日本図書センター	1995
戦争は終わった	ハインリッヒ・ベル 好村富士彦	ほるぷ出版	1988
象のいなくなった動物園	近野十志夫編	小峰書店	1994
空から地下を探るには？	西尾元充	筑摩書房	1988
第二次世界大戦 10	槐一男	太平出版社	1985
太平洋戦争はじまる	笠原秀	ポプラ社	1990
太陽が消えたあの日	長崎放送報道部編	童心社	1972
訪ねてみよう戦争を学ぶミュージアム/メモリアル	〔記憶と表現〕研究会	岩波書店	2005
たった一発の爆弾でヒロシマ20万人、 ナガサキ10万人が死んだ。	労働教育センター編集部編	労働教育センター	2011
七夕にねがいをこめて	武田英子	岩崎書店	1985
たのしい観察記録の作文5年生	日本作文の会編	小峰書店	1993
チェルノブイリから広島へ	広河隆一	岩波書店	1995
中学生の春夏秋冬	石川逸子	岩波書店	1984
中学生のための「総合」アイデアBOOK 1	滝口正樹	ポプラ社	2001
中学生の読書のために	川口昭三	民衆社	1989
中国・四国歴史の町	三浦はじめ	P H P 研究所	1994
地理学習の旅-ジュニア版- 2		あすなろ書房	2001
チロルの星まつり	藤井旭	ポプラ社	1988
翼のヒロシマ	町田樹生文・絵	飛鳥出版室	2011
ドウユーノウサダコ？	守屋敦子	よも出版	2002
飛べ！千羽づる	手島悠介	講談社	1982
飛べ！千羽づる（青い鳥文庫）	手島悠介	講談社	1986
飛べ！千羽づる（新装版）	手島悠介	講談社	1989
飛べ！千羽づる（新装版）	手島悠介	講談社	2000

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
どんなくらしをしてるかな 永井隆	ヒルデガルト・ハウブリック ハートウィック・ハウブリック 松村亮一・松本千里 編訳	古今書院	1991
長崎 -カラー版-	中井俊巳	童心社	2007
ナガサキー 1945年8月9日	原田博二	岩波書店	2006
ナガサキー 1945年8月9日(新版)	長崎総合科学大学 平和文化研究所 編	岩波書店	1984
長崎原爆絵巻崎陽のあらし	長崎総合科学大学 平和文化研究所 編	岩波書店	1995
ナガサキに翔ぶ	深水経孝	草の根出版会	2003
ナガサキの空	山脇あさ子	新日本出版社	1996
長崎を忘れない	畑島喜久生	らくだ出版	1986
長崎原爆資料館 夏雲	渡辺千恵子	草土文化	1980
夏服の少女たち	ピースウィング長崎 長崎平和推進協会 編	長崎平和推進協会	2000
なみだのファインダー	広島女学院教職員組合 平和教育委員会 編	広島女学院教職員組合	2001
仁科芳雄／本多光太郎	大野允子	ポプラ社	1989
20世紀を一緒に歩いてみないか	松重美人	ぎょうせい	2003
21世紀こども百科歴史館	関口たか広 漫画	ほるぷ出版	1991
日本と世界のちがいを考える本-国際理解にやくだつ- 7	村上義雄	岩波書店	2001
日本と世界のちがいを考える本-国際理解にやくだつ- 8		小学館	1999
日本の遺跡と遺産 7	矢野慎一	ポプラ社	2000
日本の戦跡を見る	安島太佳由	ポプラ社	2000
日本の地理 3 中国・四国	岩崎書店	岩崎書店	2009
日本の歴史 5	小島晃 編	岩波書店	2003
日本の歴史 下	宇野俊一ほか 編	あゆみ出版	1990
日本の歴史博物館・史跡 7	高橋磯一ほか	集英社	1991
		岩崎書店	1987
		あかね書店	1999

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
猫ちゃんは帰らない	黒川 万千代	民衆社	1983
ノーモア核兵器	服部 学	草土文化	1983
爆心地ヒロシマに入る	林 重男	岩波書店	1992
初めて知った戦争	秋山 正美 編	日本図書センター	1993
はだしのゲンはピカドンを忘れない	中沢 啓治	岩波書店	1982
はだしのゲンはヒロシマをわすれない	中沢 啓治	岩波書店	2008
はばたけ千羽鶴	豊田 清史	筑摩書房	1982
母と子でみる原爆を撮った男たち	反核・写真運動 編	草の根出版会	1987
母と子でみるヒバクシャ	桐生 広人	草の根出版会	1995
母と子でみる広島・長崎	朝日新聞企画部 編	草土文化	1983
ピカドン	講談社 編	講談社	2003
ピカドン	丸木 位里 丸木 俊	東邦出版	1982
ピカドンのきのこ雲	日本児童文芸家協会 編	ポプラ社	1975
ピカドンの青春	小井手 桂子	三修社	1985
ひかりのたね	天野 文子	汐文社	1992
ビジュアル版平和博物館・戦跡ガイド1・2	佐藤広基・本地桃子	汐文社	2004
ピース・アニメを創る	ミホ・シボ	かもがわ出版	1993
人は昭和をどう生きてきたか	原田 勝正	ポプラ社	1990
ひとり調べができる時代別日本の歴史12		学習研究社	1997
一人ぼっちの焼けあと	秋山 正美 編	日本図書センター	1993
被爆者	会田 法行	ポプラ社	2005
被爆者たちの戦後50年	栗原 淑江	岩波書店	1995
火ははたらく	大竹 三郎	大日本図書	1987
碑めぐり研修録	日本大学第二中学校	日本大学第二学園 日本大学第二中学校第三学年	2003

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
ひろしま －これはわたしたちのさげびです－	小学校平和教育 教材編集委員会 編	広島平和教育研究所	1984
ひろしま －原爆をかんがえる－	広島県平和教育 教材編集委員会 編	広島平和教育研究所	1984
ひろしま －今日の核時代を生きる－	広島平和教育 研究所 編	広島平和教育研究所	1993
ひろしま －今日の核時代を生きる－ (改訂版)	広島平和教育 研究所 編	広島県教育用品	1997
ひろしま－15年戦争と広島－	広島平和教育 研究所 編	広島平和教育研究所	1986
ひろしま －平和教育教材写真集－	広島県原爆被爆 教職員の会 編	広島平和教育研究所	1984
ひろしま碑・遺跡・平和あんない	広島平和教育 研究所 ほか 編	広島平和教育研究所	1984
ヒロシマ語り部の歌	大野 允子	汐文社	1999
ヒロシマ希望の未来	澤野 重男	平和文化	2010
広島県の民話	日本児童文学者協会 編	偕成社	1979
ひろしま国	中国新聞社 編	明石書店	2009
ヒロシマ心の旅路	児玉辰春	岩崎書店	1996
ヒロシマ・コレクション	土田 ヒロミ	日本放送出版協会	1995
ヒロシマ散歩	植野 浩	汐文社	1997
広島修学旅行ハンドブック	平和・国際教育研究会 編	平和文化	1999
ヒロシマ 1945～1979	土田 ヒロミ	朝日ソノラマ	1979
広島第二県女二年西組	関 千枝子	筑摩書房	1985
ヒロシマ読本 (第15版)	小堀 吉光 広島平和文化センター 編	広島平和文化センター	1992
ヒロシマ・ナガサキ	現代出版編集部 編	現代出版	1982
広島・長崎からの伝言	大川悦生	岩崎書店	1990

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
広島・長崎市児童生徒平和のつどい感想文集	広島・長崎市児童生徒平和のつどい実行委員会 編	広島・長崎市児童生徒平和のつどい実行委員会	2004
広島・長崎市児童生徒平和のつどい感想文集 平成17年度	広島・長崎市児童生徒平和のつどい実行委員会 編	広島・長崎市児童生徒平和のつどい実行委員会	2005
広島長崎修学旅行案内	松元 寛	岩波書店	1982
広島長崎修学旅行案内(新版)	松元 寛	岩波書店	1998
広島・長崎でなにが起こったのか	飯島 宗一	岩波書店	1982
ヒロシマ、ナガサキ、フクシマ	田口 ランディ	筑摩書房	2011
ヒロシマに生きて	原田 東 岷	草の根出版会	1999
ヒロシマの証	土田 ヒロミ ほか	岩波書店	1982
ヒロシマの雨はドームの涙 (改題、ヒロシマの雨はドームの涙 Part I)	小川 利 雄 編	教育出版センター	1975
ヒロシマの碑 <sup>いし</sup>	宅 和 純	広島県教育用品	1996
広島のおいしづみはみつめる第2集	西尾 隆 昌 編	西尾 隆 昌	2000
広島のおばあちゃん 過去 現在 未来	鎌田 七 男	鎌田七男ソフトプロジェクト	2005
ヒロシマの原子雲	高城 肇	偕成社	1972
ヒロシマの子	森下 弘 ほか	平和文化	1983
ヒロシマ、遺された九冊の日記帳	大野 允 子	ポプラ社	2005
ヒロシマの旅	広島県歴史教育者協議会 ほか 編	平和文化	1983
ヒロシマの被爆建造物は語る	被爆建造物調査委員会 編	広島平和記念資料館	1996
広島の歴史ものがたり	広島県郷土史研究会	日本標準	1981
ヒロシマは語る	「ヒロシマは語る」刊行委員会 編	広島県原爆被害者団体協議会	1997
ヒロシマは世界をむすぶ	小島 昌 世	ポプラ社	1999
広島平和の親子バスツアー感想文集	原水爆禁止加古川市協議会 編	原水爆禁止加古川市協議会	1993
ヒロシマ・平和のリボン	ヒロシマ・平和のリボンの会 編	ヒロシマ・平和のリボンの会	1991

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
ヒロシマ「平和への <sup>たびだち</sup> 出発」	創価学会婦人 平和委員会 編	第三文明社	1987
広島ろう学校被爆と疎開の記録	広島県立ろう学校 平和教育資料編纂委員会 編	広島県立広島ろう学校	1996
ヒロシマを世界に	広島平和記念資料館 編	広島平和記念資料館	1999
ヒロシマを持ちかえった人々	市場 淳子	凱風社	2000
ヒロシマを持ちかえった人々(新装増補版)	市場 淳子	凱風社	2005
兵隊ぐらしとピカドン	江戸家 猫八	ポプラ社	1983
平和－国家・核・教育－	広島平和文化センター 編	広島平和文化センター	1989
平和を考える小中学生作文集 第15集	沼津市財務部 編	沼津市財務部	2004
平和をねがう「原爆の図」	楠木 しげお	銀の鈴社	2012
平和記念資料館学習ハンドブック-小学生用-	広島平和記念資料館	広島平和記念資料館	2001
平和記念資料館学習ハンドブック-中・高校生用-	広島平和記念資料館	広島平和記念資料館	2001
平和公園碑めぐりガイドブック(改訂版)	生協ひろしま 碑めぐりガイドの会	生協ひろしま 碑めぐりガイドの会	2007
「平和宣言」を読む-平成18年(2006年)8月6日-	広島平和文化センター 編	広島平和文化センター	2007
平和の木	長崎 源之助	童心社	1990
平和のたからもの	寺田 志桜里	くもん出版	2001
平和の芽	横山 秀夫	講談社	1995
平和博物館・戦争資料館ガイドブック(増補)	歴史教育者協議会 編	青木書店	2004
平和への祈り	平山 郁夫	毎日新聞社	1998
平和を祈る人たちへ	被爆60周年記念証言集 編集委員会 編	広島女学院同窓会	2005
平和を考える絵本	全国学校図書館協議会 ブックリスト委員会	全国学校図書館 協議会	1992
ぼく生きたかった	名越 謙蔵 名越 操	労働教育センター	1982
ぼくと兄の日章旗	中野 孝次	ポプラ社	1995
ぼくの戦争	秋山 勝彦	ウインかもがわ	2004

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
ぼくのピース・メッセージ	山本コウタロー	岩波書店	1990
ぼくの町は「戦場」だった	BBCイギリス放送 山中恒 編訳	平凡社	1990
ぼくらは生きたい	加藤茂男	ポプラ社	1983
本当は怖いだけじゃない放射線の話	大脳博善	ワック	2002
緑のドクター	藤崎康夫	くもん出版	1988
娘よ、ここが長崎です	筒井茅乃	くもん出版	1985
娘よ、ここが長崎です	筒井茅乃	くもん出版	2007
目で見る戦争とくらし百科 4		日本図書センター	2001
燃える日本列島	来栖良夫ほか 編	童心社	1969
燃える日本列島 (フォア文庫)	来栖良夫ほか 編	童心社	1985
もっと知りたい日本の現代史	鈴木亮	ほるぷ出版	1991
焼け跡に風が吹く	山福康政	福音館書店	1995
山梨の被爆アオギリ二世	岡田清	岡田清	2005
遺言「ノー・モア・ヒロシマ」 第1集～第5集	ヒロシマ青空の会 編	ヒロシマ青空の会	2004・2008
夕焼けの子どもたち	那須正幹	岩崎書店	1990
ユネスコ世界遺産原爆ドーム	中国新聞社 編	中国新聞社	1997
よみがえるふるさと	秋山正美 編	日本図書センター	1993
流光	修道中学・高等学校記念誌「流光」編集委員会 編	修道中学・高等学校	1995
ルルの家の絵かきさん	宇佐美承	偕成社	1978
私の戦争	黒木和雄	岩波書店	2004
私はニュースキャスター	久和ひとみ	岩波書店	1989
わたしがちいさかったときに	長田新ほか	童心社	1967
わたしがちいさかったときに (フォア文庫)	長田新 編	童心社	1989

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
わたしからのメッセージ	広島市立鞆町中学校「この世界に平和を！」委員会	広島市立鞆町中学校	2001
わたしたちのアジア・太平洋戦争 3	古田足日・米田佐代子・西山利佳 編	童心社	2004
わたしたちのいのち・健康・未来	名原壽子 編 加藤文三 編	汐文社	1991
わたしたちの戦争体験 7	日本児童文芸家協会	学研教育出版	2010
わたしの少女時代	池田理代子 ほか	岩波書店	1979
わたしの8月15日	あかね書房 編	あかね書房	1975
私はヒロシマ・ナガサキに原爆を投下した	チャールズ・W・スワイニー ほか著 黒田剛 訳	原書房	2000

## ◎詩歌

挨拶—原爆の写真によせて	石垣りん	岩崎書店	2009
愛する人へ	門倉 訣	けやき書房	1987
あおい空に	松永 伍一 編	童心社	1996
いのり	立原 えりか 編	太平出版社	1985
いま中学生とよみたい 101 の詩	木坂 涼 編 水内 喜久雄 編	民衆社	1999
教室でよみたい詩 12 か月 —小学校3・4年—	水内 喜久雄 編著	民衆社	1995
教室でよみたい詩 12 か月 —小学校5・6年—	水内 喜久雄 編著	民衆社	1995
原子雲の下より (青木文庫)	峠 三吉 編	青木書店	1952
原子雲の下より	被爆実態調査会 編	亜紀書房	1989
原爆詩集 (新装・愛蔵版)	峠 三吉	合同出版	1995
交響詩集ヒロシマ	水野潤一	丸ノ内出版(発売)	1999
子どもと心を見つめる詩	西郷竹彦	黎明書房	1996
詩集 にんげんをかえせ	峠 三吉	新日本出版社	1995
詩のわかる本 中学3年	畑島喜久生 編	国土社	1997

〈書名〉	〈著者名〉	〈発行所〉	〈刊年〉
小学生詩のくにへ 12	新川和江 編	太平出版社	1988
少年のひろしま	大平数子	草土文化	1981
戦争と人間	川崎洋 編	岩崎書店	1997
空になった少年	シゲミ・ヨシダ	岩崎書店	1995
日本の子どもの詩 34	日本作文の会 編	岩崎書店	1984
母よ誰が	渋谷清一 視一 編	金の星社	1985

※ このリストに掲載している図書は、一部を除いて貸し出しができません。詳しくは、次の市立図書館窓口でお尋ねください。

<p><b>こども図書館</b>          〒730-0011          中区基町5-83          (こども文化科学館と併設)          TEL (082) 221-6755          FAX (082) 222-7020          ★原爆ドーム前電停下車          徒歩約3分</p>	<p><b>中央図書館</b>          〒730-0011          中区基町3-1          (映像文化ライブラリーと併設)          TEL (082) 222-5542          FAX (082) 222-5545          ★広島バスセンターから徒歩約5分          アストラムライン県庁前駅から徒歩約4分</p>
--	---

**中区図書館**  
 〒730-0812  
 中区加古町4-17  
 (アステールプラザ2階)  
 TEL (082) 248-9300  
 FAX (082) 247-8447  
 ★加古町バス停  
 下車徒歩約2分

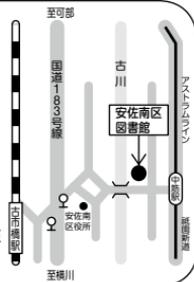
**東区図書館**  
 〒732-0055  
 東区東蟹屋町10-31  
 (東区民文化センターと併設)  
 TEL (082) 262-5522  
 FAX (082) 264-6100  
 ★広島駅から徒歩約10分  
 東区役所前バス停下車正面

**南区図書館**  
 〒732-0816  
 南区比治山本町16-27  
 (南区民文化センターと併設)  
 TEL (082) 251-1080  
 FAX (082) 252-4120  
 ★皆実町一丁目バス停  
 下車徒歩約2分  
 南区役所前電停下車  
 徒歩約3分

**西区図書館**  
 〒733-0013  
 西区横川新町6-1  
 (西区民文化センターと併設)  
 TEL (082) 234-1970  
 FAX (082) 295-9287  
 ★横川駅から徒歩約5分

### 安佐南区図書館

〒731-0122  
 安佐南区中筋一丁目22-17  
 (安佐南区民  
 文化センターと併設)  
 TEL (082) 879-5060  
 FAX (082) 879-8536  
 ★下古市バス停下車  
 徒歩約10分  
 アストラムライン中筋駅下車  
 徒歩約2分



### 安佐北区図書館

〒731-0221  
 安佐北区可部七丁目  
 28-25  
 (安佐北区民  
 文化センターと併設)  
 TEL (082) 814-0340  
 FAX (082) 814-0604  
 ★安佐北区民文化センター  
 入口バス停下車  
 徒歩約8分



### 安芸区図書館

〒736-8508  
 安芸区船越南三丁目2-16  
 (安芸区民  
 文化センターと併設)  
 TEL (082) 824-1056  
 FAX (082) 824-1057  
 ★海田市駅から  
 徒歩約7分  
 船越町・安芸区役所  
 バス停下車徒歩約1分



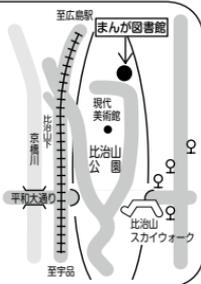
### 佐伯区図書館

〒731-5128  
 佐伯区五日市中央六丁目  
 1-10  
 (佐伯区民  
 文化センターと併設)  
 TEL (082) 921-7560  
 FAX (082) 924-0742  
 ★佐伯区民文化セン  
 ター前バス停下車  
 徒歩約2分



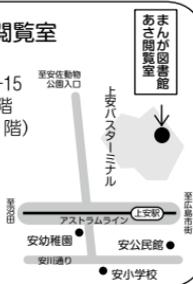
### まんが図書館

〒732-0815  
 南区比治山公園1-4  
 TEL (082) 261-0330  
 FAX (082) 262-5406  
 ★比治山下電停下車  
 徒歩約10分  
 段原中央バス停下車  
 徒歩約13分



### まんが図書館あさ閲覧室

〒731-0154  
 安佐南区上安二丁目30-15  
 上安バスターミナル3階  
 (ヘルテガーデンA棟2階)  
 TEL (082) 830-3675  
 FAX (082) 830-3676  
 ★アストラムライン上安駅下車  
 徒歩約1分  
 上安バスターミナル下車  
 徒歩約1分



### 佐伯区図書館湯来河野閲覧室（やまゆりホール）

〒738-0601  
 佐伯区湯来町大字和田353-1  
 TEL (0829) 40-4005 FAX (0829) 83-0134  
 ★大橋（湯来出張所）バス停下車徒歩約10分

コンピュータシステムが異なるた  
 め、貸出利用券は湯来河野閲覧室専  
 用となります。インターネットから  
 の蔵書検索や予約はできません。



## 「ほんはともだち'12」編集委員

### 広島市よい本をすすめる母の会会員および公募委員

#### 幼 児 向 け

小 田 公 子      加 納 キミ子      栗 栖 智 子  
村 本 佐知子

#### 小学校低学年向け

菅 原 五十鈴      津 留 幸 子      寺 西 真 理  
中 田 みどり

#### 小学校中学年向け

大 原 百合香      柴 田 幸 子      鈴 木 尚 子  
藤 田 幸 子

#### 小学校高学年向け

河 野 優 子      小 池 佳 代      友 野 紀 代

#### 中 学 生 向 け

射 原 幸 子      梅 地 佳代子      角 田 寛 子  
水 田 明 美

#### ノンフィクション

小 田 公 子      河 野 優 子      柴 田 幸 子  
寺 西 真 理      水 田 明 美

(五十音順)

#### 職 員

野 口 雅 子      佐 藤 睦 子      安 部 浩 子  
川 上 夏奈子      菅 原 佐和子      播 磨 優 子  
中 村 糸 美      松 葉 佐 真奈美      吉 川 暁 子  
村 本 佳 子      井 手 紗 弓



---

## ほんはともだち '12

子どもの心を育てる良書目録

(2010年4月～2012年3月)

発行日 平成25(2013)年3月14日

編集 「ほんはともだち '12」編集委員会

発行 財団法人広島市未来都市創造財団 広島市こども図書館

〒730-0011 広島市中区基町5-83

電話 (082) 221-6755

---

